

平成 25 年 11 月 19 日

【照会先】

職業安定局

高齢・障害者雇用対策部 障害者雇用対策課
課長 藤 枝 茂

主任障害者雇用専門官 田 窪 丈 明

障害者雇用専門官 寺 岡 潤

(代表電話) 03-5253-1111 (内線) 5857、5789

(直通電話) 03-3502-6775

平成 25 年 障害者雇用状況の集計結果

厚生労働省では、このほど、民間企業や公的機関などにおける、平成 25 年の「障害者雇用状況」集計結果を取りまとめましたので、公表します。

障害者雇用促進法では、事業主に対し、常時雇用する従業員の一定割合（法定雇用率、民間企業の場合は 2.0%）以上の障害者を雇うことを義務付けています。

今回の集計結果は、同法に基づき、毎年 6 月 1 日現在の身体障害者、知的障害者、精神障害者の雇用状況について、障害者の雇用義務のある事業主などに報告を求め、それを集計したものです。

なお、法定雇用率は平成 25 年 4 月 1 日に改定されています（民間企業の場合は 1.8% → 2.0%）。

【集計結果の主なポイント】

<民間企業>（法定雇用率 2.0%）

○雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新。数、率の伸び幅も過去最高。

- ・雇用障害者数は 40 万 8,947.5 人、対前年 7.0%（26,584.0 人）増加
- ・実雇用率 1.76%、対前年比 0.07 ポイント上昇

○法定雇用率達成企業の割合は 42.7%（前年比 4.1 ポイント低下）

<公的機関>（同 2.3%、都道府県などの教育委員会は 2.2%）※（ ）は前年の値

○雇用障害者数及び実雇用率のいずれも対前年で上回る。

- ・国：雇用障害者数 7,371.0 人（7,105.0 人）、実雇用率 2.44%（2.31%）
- ・都道府県：雇用障害者数 8,136.0 人（7,882.0 人）、実雇用率 2.52%（2.43%）
- ・市町村：雇用障害者数 2 万 4,792.0 人（2 万 3,730.5 人）、実雇用率 2.34%（2.25%）
- ・教育委員会：雇用障害者数 1 万 3,581.0 人（1 万 2,677.5 人）、実雇用率 2.01%（1.88%）

<独立行政法人など>（同 2.3%）※（ ）は前年の値

○雇用障害者数及び実雇用率のいずれも対前年で上回る。

- ・雇用障害者数 8,369.0 人（7,647.0 人）、実雇用率 2.27%（2.13%）

障害者雇用状況報告の集計結果（概要）

1 民間企業における雇用状況

○ 雇用されている障害者の数、実雇用率、法定雇用率達成企業の割合

- ・ 民間企業（50人以上規模の企業：法定雇用率2.0％）に雇用されている障害者の数は 408,947.5人で、前年より7.0％（26,584.0人）増加し、10年連続で過去最高となった。
- ・ 雇用者のうち、身体障害者は 303,798.5人（対前年比4.4％増）、知的障害者は82,930.5人（同11.0％増）、精神障害者は22,218.5人（同33.8％増）と、いずれも前年より増加し、特に精神障害者の伸び率が大きくなった。
- ・ 実雇用率は、2年連続で過去最高の1.76％（前年は1.69％）、法定雇用率達成企業の割合は42.7％（同46.8％）であった。

〔総括表 1、グラフ (1)、詳細表 1 (1)・(4)〕

○ 企業規模別の状況

- ・ 企業規模別にみると、雇用されている障害者の数は、今年から新たに報告対象となった50～56人未満規模企業では4,488.5人であった。また、従来から報告対象であった規模企業で見ると、56～100人未満規模企業で 32,921.5人（前年は30,297.5人）、100～300人未満で78,157.5人（同73,422.5人）、300～500人未満で 38,773.5人（同37,396.0人）、500～1,000人未満で 48,791.5人（同46,055.0人）、1,000人以上で 205,815.0人（同195,192.5人）と、すべての企業規模で前年より増加した。
- ・ 実雇用率は、今年から新たに報告対象となった50～56人未満規模企業は1.56％となった。また、従来から報告対象であった企業規模では、56～100人未満で1.39％（前年は1.39％）、100～300人未満で1.52％（同1.44％）、300～500人未満で1.71％（同1.63％）、500～1,000人未満で1.77％（同1.70％）、1,000人以上で1.98％（同1.90％）となった。
なお、民間企業全体の実雇用率1.76％（同1.69％）と比較すると、1,000人以上規模企業と500人～1,000人未満規模企業が上回っている。
- ・ 法定雇用率達成企業の割合は、今年から新たに報告対象となった50～56人未満規模企業は34.5％となった。また、従来から報告対象であった企業規模では、56～100人未満が44.5％（前年は43.7％）、100～300人未満が43.5％（同48.5％）、300～500人未満が39.7％（同46.8％）、500～1,000人未満が37.6％（同47.1％）、1,000人以上が41.7％（57.5％）となり、56～100人未満を除き従前から報告対象であった全ての規模の区分で前年より低下した。

〔グラフ (2)・(3)、詳細表 1 (2)〕

○ 産業別の状況

- ・ 産業別にみると、雇用されている障害者の数は、「生活関連サービス業、娯楽業」以外の全ての業種で前年よりも増加した。
- ・ 産業別の実雇用率では、「医療、福祉」(2.05%)が法定雇用率を上回っている。
- ・ また、「農、林、漁業」(1.83%)、「製造業」(1.86%)、「電気・ガス・熱供給・水道業」(1.93%)、「運輸業、郵便業」(1.82%)、「金融業、保険業」(1.83%)、「生活関連サービス業、娯楽業」(1.98%)、サービス業(1.80%)の7業種は、民間企業全体の実雇用率 1.76%を上回っている。

〔グラフ(4)・(5)、詳細表 1 (3)〕

○ 法定雇用率未達成企業の状況

- ・ 平成25年の法定雇用率未達成企業は48,901社。そのうち、不足数が0.5人または1人である企業(1人不足企業)が、62.1%と過半数を占めている。
- ・ また、障害者を1人も雇用していない企業(0人雇用企業)が、未達成企業に占める割合は、59.6%となっている。

〔詳細表 1 (5)〕

○ 特例子会社の状況

- ・ 平成25年6月1日現在で特例子会社(※)の認定を受けている企業は380社(前年より31社増)で、雇用されている障害者の数は、20,478.5人であった。
- ・ 雇用者のうち、身体障害者は9,047.5人、知的障害者は10,117.5人、精神障害者は1,313.5人であった。

※親会社の実雇用率に算入できる、障害者の雇用に特別の配慮をした子会社

〔詳細表 1 (7)〕

2 公的機関における在職状況

(1) 国の機関(法定雇用率2.3%)

国の機関に在職している障害者の数は7,371.0人で、前年より3.7%(266.0人)増加しており、実雇用率は2.44%と、前年に比べ0.13ポイント上昇した。

国の機関は40機関中39機関で達成。

【未達成機関】

原子力規制委員会

〔総括表 2 (1)、詳細表 2 (1)、4 (1)〕

(2) 都道府県の機関(法定雇用率2.3%)

都道府県の機関に在職している障害者の数は8,136.0人で、前年より3.2%(254.0人)増加しており、実雇用率は2.52%と、前年に比べ0.09ポイント上昇した。

知事部局は47機関中46機関で達成、知事部局以外は109機関中98機関が達成。

【未達成機関】

(知事部局)

宮城県

(その他)

宮城県警察本部、茨城県警察本部、新潟県警察本部、新潟県病院局、愛媛県警察本部、福岡県警察本部、青森県病院局、宮城県企業局、福島県病院局、名古屋港管理組合、大分県病院局

〔総括表 2 (2)、詳細表 2 (2)、4 (2)・(3)〕

(3) 市町村の機関 (法定雇用率2.3%)

市町村の機関に在職している障害者の数は24,792.0人で、前年より4.5% (1,061.5人) 増加しており、実雇用率は2.34%と、前年に比べ0.09ポイント上昇した。
2,372機関中1,947機関が達成。

〔総括表 2 (3)、詳細表 2 (3)〕

(4) 都道府県等の教育委員会 (法定雇用率2.2%)

都道府県等の教育委員会に在職している障害者の数は 13,581.0人で、前年より7.1% (903.5人) 増加しており、実雇用率は 2.01% (都道府県教育委員会は2.02%、市町村教育委員会は1.95%) と、前年に比べ0.13ポイント上昇した。

都道府県教育委員会は47機関中12機関が達成、市町村教育委員会は78機関中60機関が達成。

【未達成の都道府県教育委員会】

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、福島、栃木、群馬、埼玉、東京、新潟、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島
の教育委員会

〔総括表 2 (4)、詳細表 2 (4)、4 (4)〕

3 独立行政法人等における雇用状況

独立行政法人等 (法定雇用率2.3%) に雇用されている障害者の数は8,369.0人で、前年より9.4% (722.0人) 増加しており、実雇用率は2.27%と、前年に比べ0.14ポイント上昇した。

独立行政法人等 (国立大学法人等を除く) は100法人中76法人が達成、国立大学法人等は90法人中64法人が達成、地方独立行政法人等は128法人中73法人が達成。

〔総括表 3、詳細表 3、4 (5)〕

平成25年6月1日現在における障害者の雇用状況(総括表)

1 民間企業における雇用状況(法定雇用率2.0%)

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる労働者数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 法定雇用率達成企業の数 / 企業数	⑤達成割合
民間企業	23,213,401.0 人	408,947.5 人	1.76 %	36,413 / 85,314	42.7 %
	(22,577,527.0 人)	(382,363.5 人)	(1.69 %)	(35,694 / 76,308)	(46.8 %)

2 国、地方公共団体における在職状況

(1) 国の機関(法定雇用率2.3%)

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 法定雇用率達成機関の数 / 機関数	⑤ 達成割合
計	301,817.0 人	7,371.0 人	2.44 %	39 / 40	97.5 %
	(307,130.5 人)	(7,105.0 人)	(2.31 %)	(39 / 39)	(100.0 %)
行政機関	273,402.5 人	6,667.0 人	2.44 %	30 / 31	96.8 %
	(278,927.5 人)	(6,443.0 人)	(2.31 %)	(30 / 30)	(100.0 %)
立法機関	3,536.0 人	82.5 人	2.33 %	5 / 5	100.0 %
	(3,543.5 人)	(78.5 人)	(2.22 %)	(5 / 5)	(100.0 %)
司法機関	24,878.5 人	621.5 人	2.50 %	4 / 4	100.0 %
	(24,659.5 人)	(583.5 人)	(2.37 %)	(4 / 4)	(100.0 %)

(2) 都道府県の機関(法定雇用率2.3%)

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 法定雇用率達成機関の数 / 機関数	⑤ 達成割合
計	322,458.5 人	8,136.0 人	2.52 %	144 / 156	92.3 %
	(323,879.0 人)	(7,882.0 人)	(2.43 %)	(144 / 155)	(92.9 %)
都道府県 知事部局	255,526.0 人	6,501.5 人	2.54 %	46 / 47	97.9 %
	(257,128.0 人)	(6,331.0 人)	(2.46 %)	(47 / 47)	(100.0 %)
その他の 都道府県 機関	66,932.5 人	1,634.5 人	2.44 %	98 / 109	89.9 %
	(66,751.0 人)	(1,551.0 人)	(2.32 %)	(97 / 108)	(89.8 %)

※都道府県知事部局で未達成であった宮城県は、公表日時点で達成済み。
※その他の都道府県機関のうち未達成であった機関のうちの5機関は、公表日時点で達成済み。

(3) 市町村の機関(法定雇用率2.3%)

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 法定雇用率達成機関の数 / 機関数	⑤ 達成割合
市町村の機関	1,061,543.5 人	24,792.0 人	2.34 %	1,947 / 2,372	82.1 %
	(1,052,790.5 人	23,730.5 人)	(2.25 %)	(1,998 / 2,312)	(86.4 %)

※市町村の機関のうち未達成であった機関のうちの76機関は、公表日時点で達成済み。

(4) 都道府県等の教育委員会(法定雇用率2.2%)

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 法定雇用率達成機関の数 / 機関数	⑤ 達成割合
計	676,557.0 人	13,581.0 人	2.01 %	72 / 125	57.6 %
	(673,631.0 人)	(12,677.5 人)	(1.88 %)	(85 / 121)	(70.2 %)
都道府県 教育委員会	576,612.5 人	11,634.5 人	2.02 %	12 / 47	25.5 %
	(578,163.5 人	10,895.5 人)	(1.88 %)	(24 / 47)	(51.1 %)
市町村 教育委員会	99,944.5 人	1,946.5 人	1.95 %	60 / 78	76.9 %
	(95,467.5 人	1,782.0 人)	(1.87 %)	(61 / 74)	(82.4 %)

※都道府県教育委員会のうち未達成であった機関のうちの1機関は、公表日時点で達成済み。

※市町村教育委員会のうち未達成であった機関のうちの2機関は、公表日時点で達成済み。

3 独立行政法人等における雇用状況(法定雇用率2.3%)

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる労働者数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 法定雇用率達成機関の数 / 機関数	⑤ 達成割合
計	369,292.0 人	8,369.0 人	2.27 %	213 / 318	67.0 %
	(359,343.5 人)	(7,647.0 人)	(2.13 %)	(227 / 305)	(74.4 %)
独立行政法人 等(国立大学 法人等を除く)	180,015.5 人	4,267.0 人	2.37 %	76 / 100	76.0 %
	(176,481.0 人	3,917.0 人)	(2.22 %)	(82 / 97)	(84.5 %)
国立大学法人等	137,104.5 人	3,142.5 人	2.29 %	64 / 90	71.1 %
	(134,784.5 人	2,912.0 人)	(2.16 %)	(70 / 90)	(77.8 %)
地方独立行政 法人等	52,172.0 人	959.5 人	1.84 %	73 / 128	57.0 %
	(48,078.0 人	818.0 人)	(1.70 %)	(75 / 118)	(63.6 %)

※独立行政法人等のうち未達成であった機関のうちの6機関は、公表日時点で達成済み。

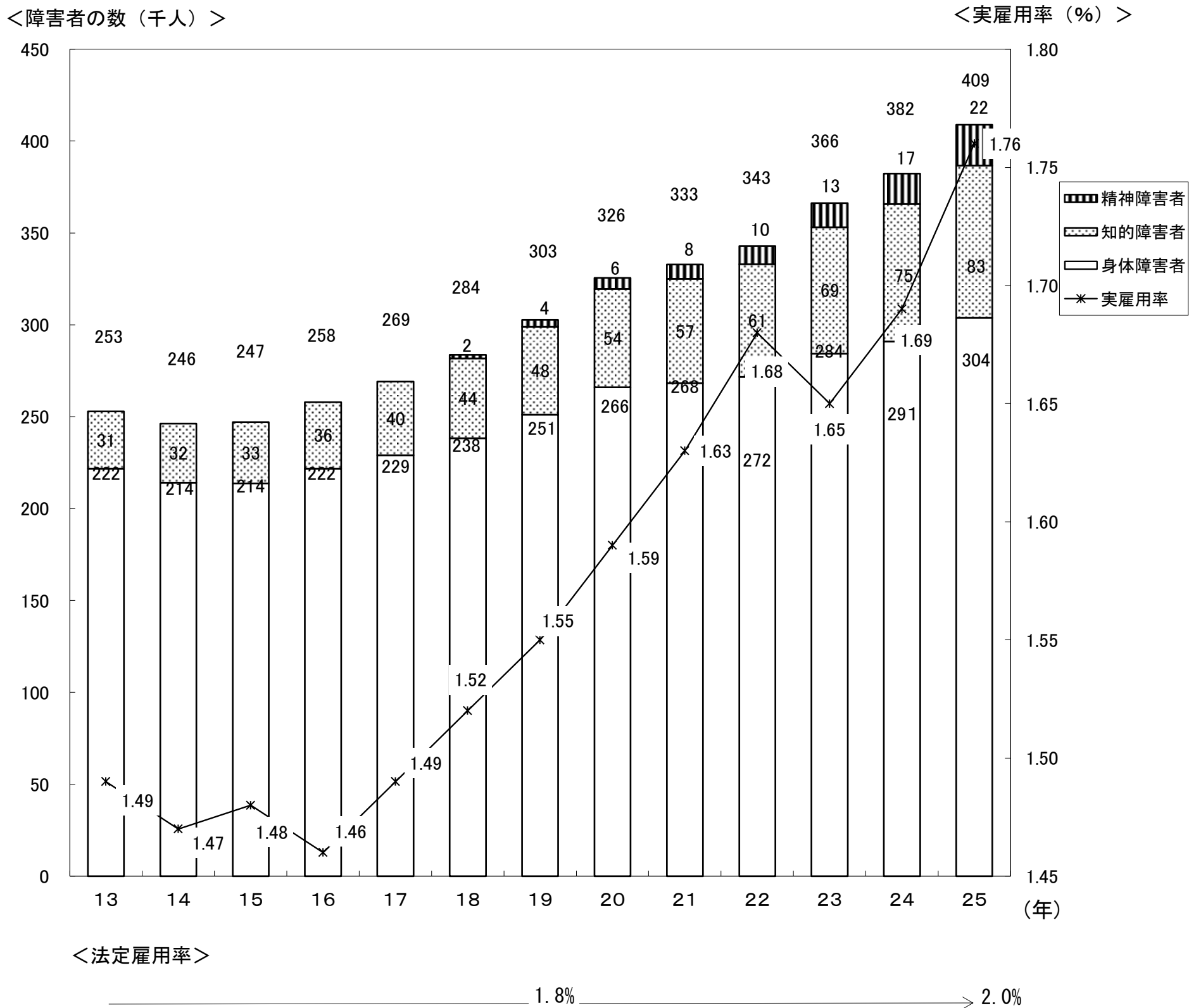
※国立大学法人等のうち未達成であった機関のうちの10機関は、公表日時点で達成済み。

※地方独立行政法人等のうち未達成であった機関のうちの3機関は、公表日時点で達成済み。

- 注 1
- 1 及び 3 の各表の①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数」とは、常用労働者総数から除外率相当数（身体障害者及び知的障害者が就業することが困難であると認められる職種が相当の割合を占める業種について定められた率を乗じて得た数）を除いた労働者数である。
- 2
- 2 の各表の①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数」とは、職員総数から除外職員数及び除外率相当職員数（旧除外職員が職員総数に占める割合を元に設定した除外率を乗じて得た数）を除いた職員数である。
- 3
- 各表の②欄の「障害者の数」とは、身体障害者、知的障害者及び精神障害者の計であり、短時間労働者以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントを行い、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者については法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。
- 4
- 法定雇用率2.2%が適用される機関とは、都道府県の教育委員会及び一定の市町村の教育委員会である。
- 5
- () 内は、平成24年6月1日現在の数値である。
なお、精神障害者は平成18年4月1日から実雇用率に算定されることとなった。
- 6
- 「独立行政法人等」とは、障害者の雇用の促進等に関する法律施行令別表第2の第1号から第8号まで、「地方独立行政法人等」とは、同令別表第2の第9号から第10号までの法人を指す。

民間企業における障害者の雇用状況(グラフ)

(1) 実雇用率と雇用されている障害者の数の推移



注 1：雇用義務のある企業（平成24年までは56人以上規模、平成25年は50人以上規模の企業）についての集計である。

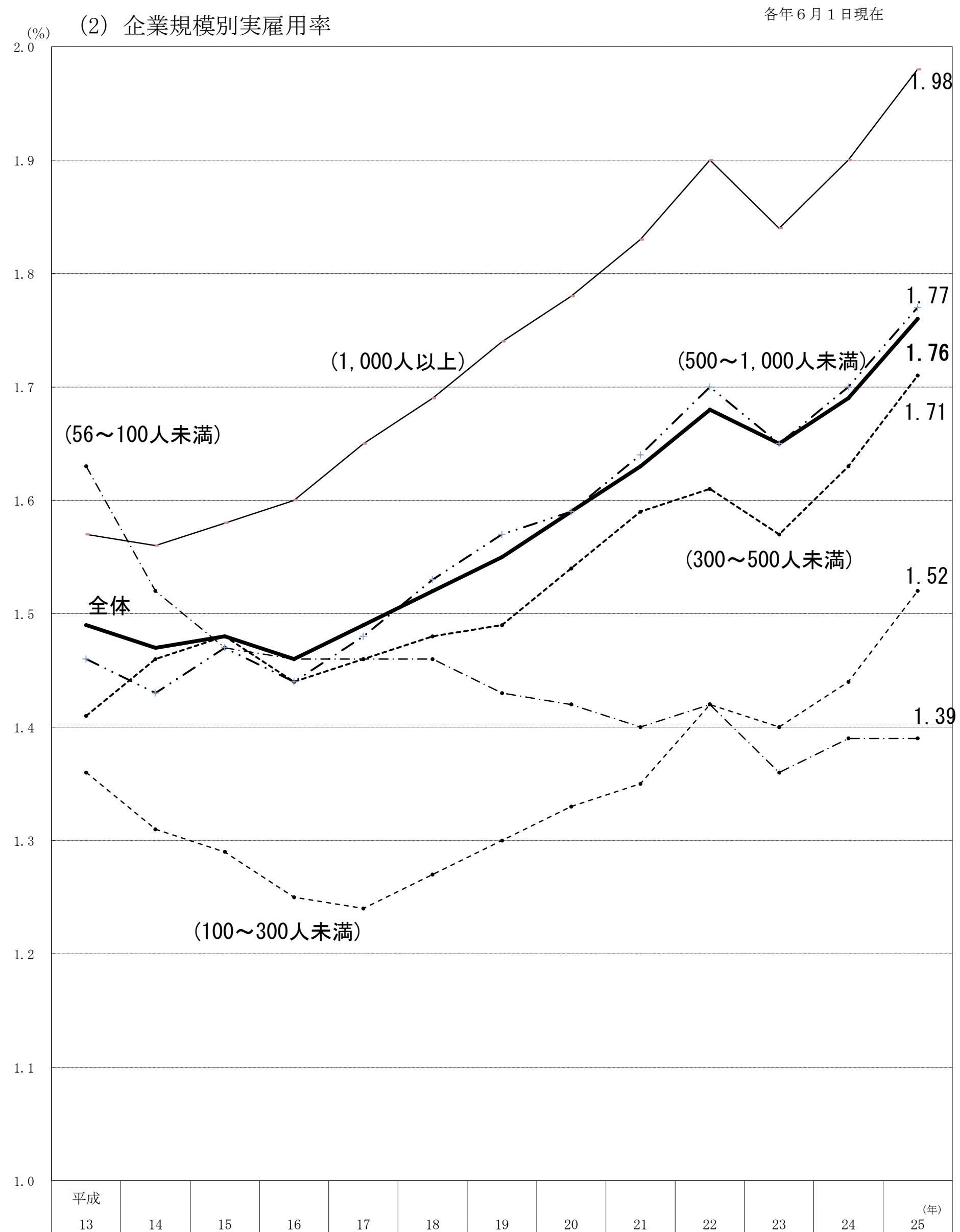
注 2：「障害者の数」とは、次に掲げる者の合計数である。

- 平成17年度まで

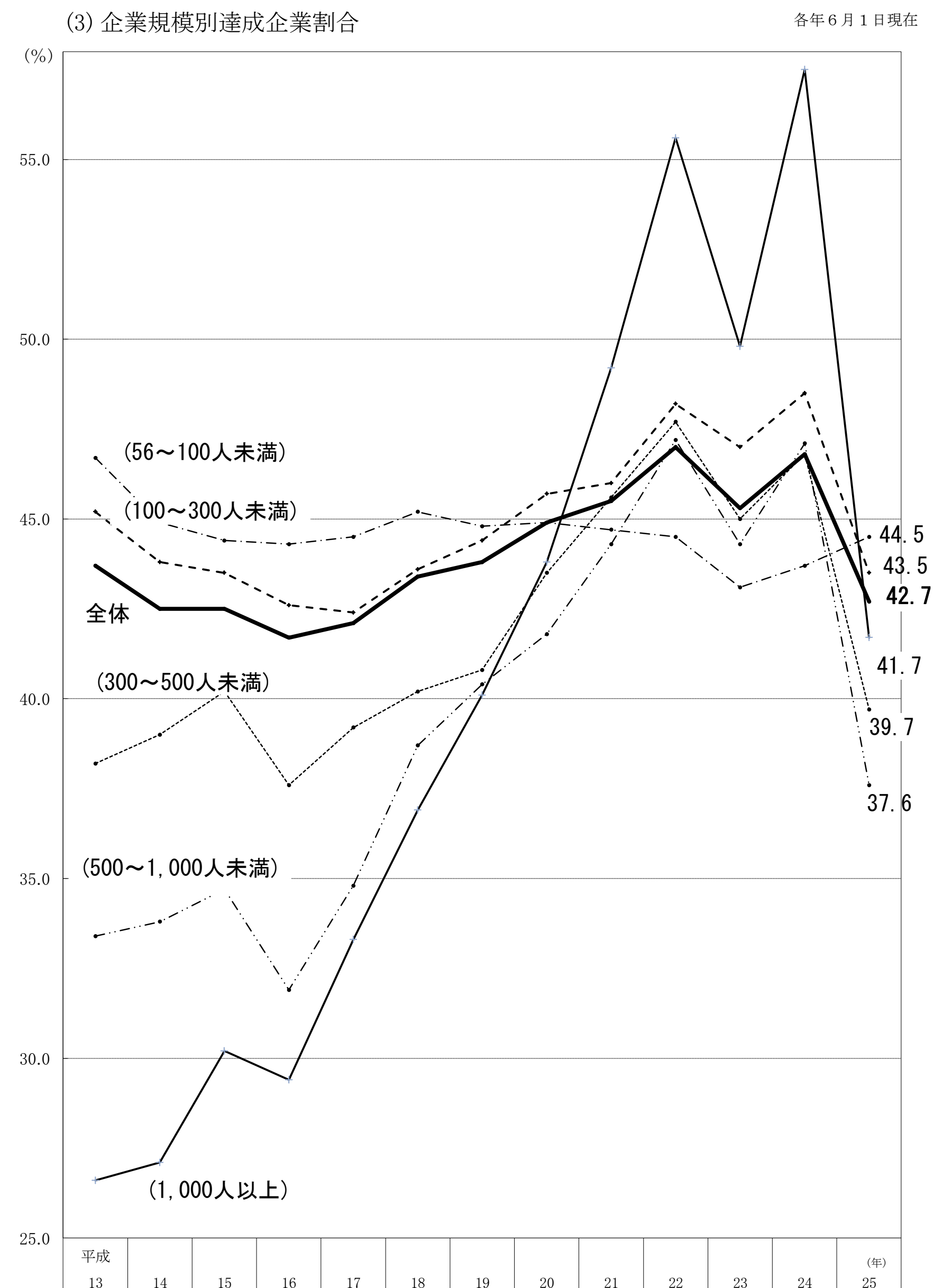
 - 身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）
 - 知的障害者（重度知的障害者はダブルカウント）
 - 重度身体障害者である短時間労働者
 - 重度知的障害者である短時間労働者
- 平成18年度以降

 - 身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）
 - 知的障害者（重度知的障害者はダブルカウント）
 - 重度身体障害者である短時間労働者
 - 重度知的障害者である短時間労働者
 - 精神障害者
 - 精神障害者である短時間労働者
 - （精神障害者である短時間労働者は0.5人でカウント）
- 平成23年度以降

 - 身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）
 - 知的障害者（重度知的障害者はダブルカウント）
 - 重度身体障害者である短時間労働者
 - 重度知的障害者である短時間労働者
 - 精神障害者
 - 身体障害者である短時間労働者（身体障害者である短時間労働者は0.5人でカウント）
 - 知的障害者である短時間労働者（知的障害者である短時間労働者は0.5人でカウント）
 - 精神障害者である短時間労働者（精神障害者である短時間労働者は0.5人でカウント）

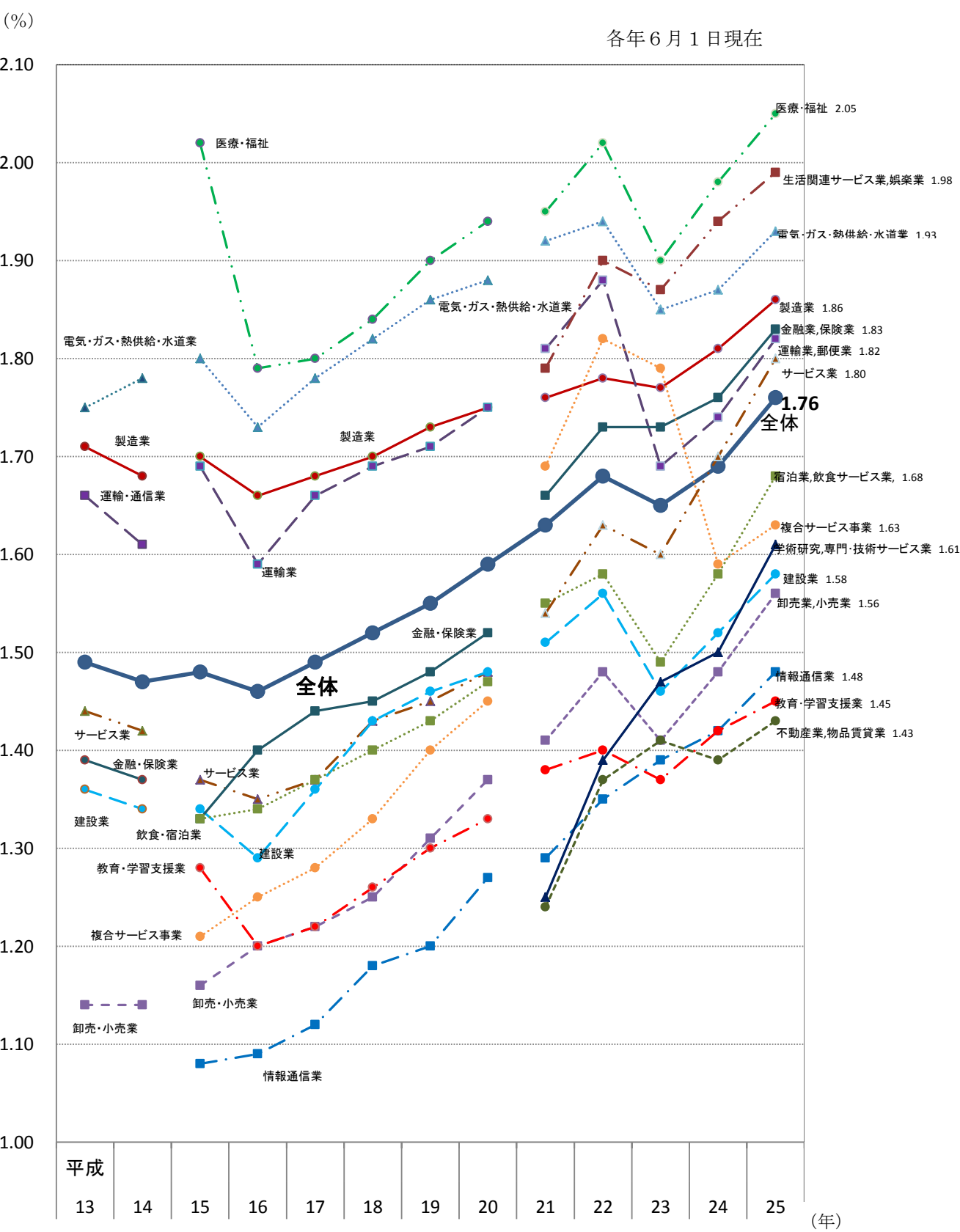


※25年に新たに対象となった50～56人未満規模企業は1.56%

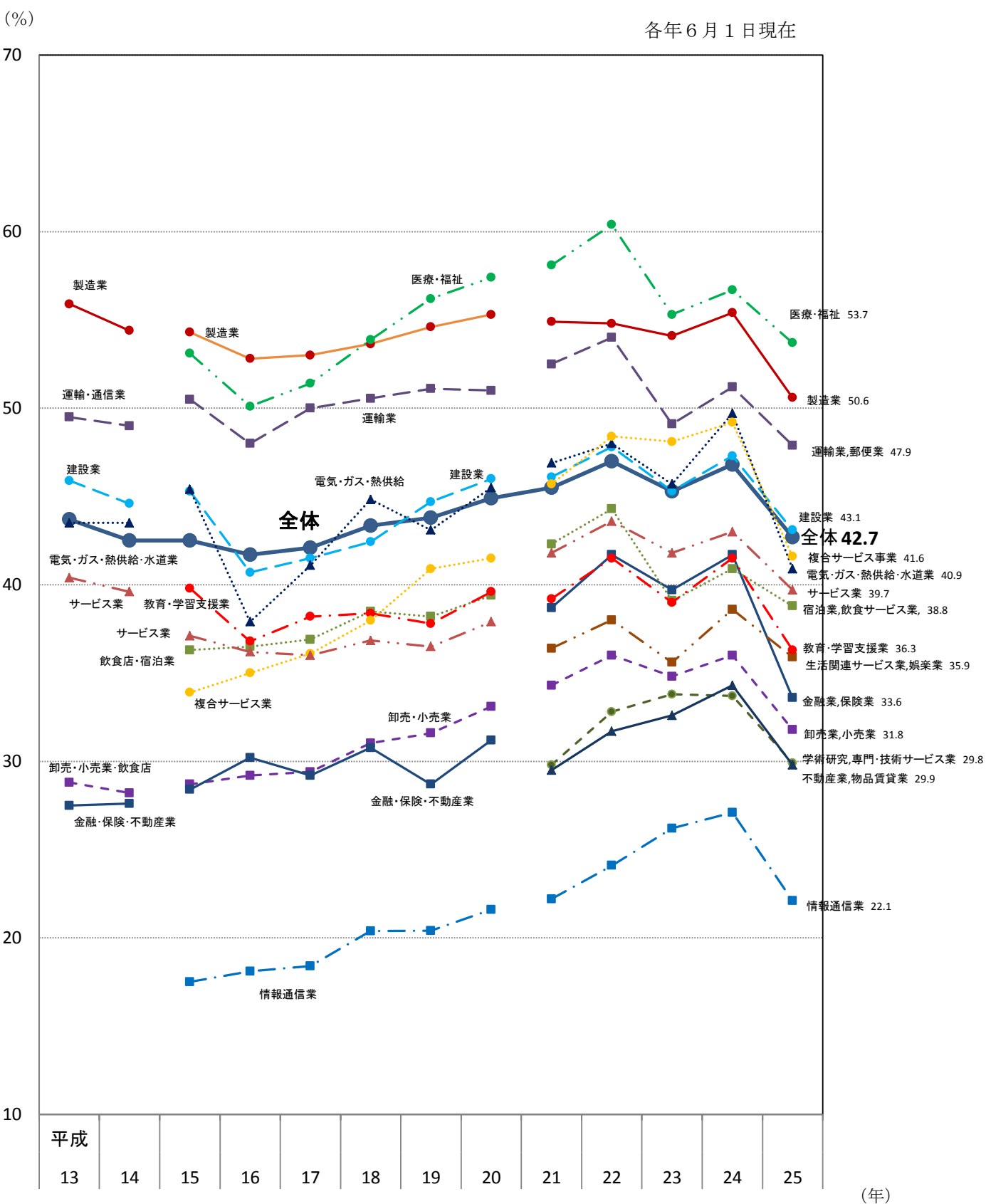


※25年に新たに対象となった50～56人未満規模企業は34.5%

(4)産業別実雇用率



(5)産業別達成企業割合



注 1 グラフ作成上、労働者数が10万人に満たない農、林、漁業及び鉱業は除いている。
2 平成15年及び平成21年より産業分類が変更になっている。

注 (4)の図と同じ。

◎ 法定雇用率とは

民間企業、国、地方公共団体は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、それぞれ以下の割合（法定雇用率）に相当する数以上の障害者を雇用しなければならないこととされている。

雇用義務の対象となる障害者は、身体障害者又は知的障害者である（なお、精神障害者は雇用義務の対象ではないが、精神障害者保健福祉手帳保持者を雇用している場合は雇用率に算定することができる）。

- | | | |
|---------------|-------|---|
| ○ 民間企業 | | { 一般の民間企業 2. 0 %
(50人以上規模の企業)
特殊法人等 2. 3 %
{ 労働者数43.5人以上規模の特殊法人、
独立行政法人、国立大学法人等 } |
| ○ 国、地方公共団体 | | 2. 3 %
(43.5人以上規模の機関) |
| ○ 都道府県等の教育委員会 | | 2. 2 %
(45.5人以上規模の機関) |

（カッコ内は、それぞれの割合（法定雇用率）によって1人以上の障害者を雇用しなければならないこととなる企業等の規模である。）

【一般民間企業における雇用率設定基準】

$$\text{障害者雇用率} = \frac{\text{身体障害者及び知的障害者である常用労働者の数} + \text{失業している身体障害者及び知的障害者の数}}{\text{常用労働者数} + \text{失業者数}}$$

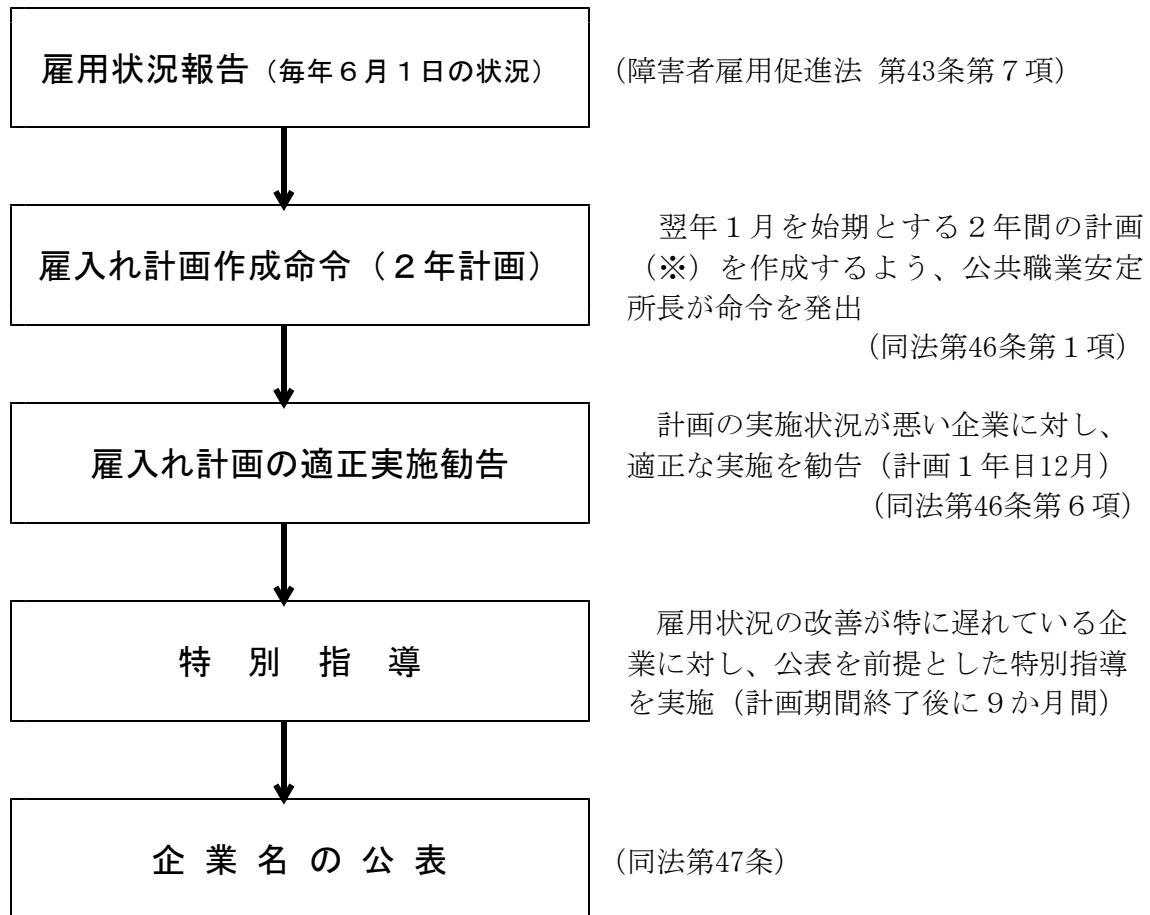
※ 特殊法人、国及び地方公共団体における障害者雇用率は、一般の民間企業の障害者雇用率を下回らない率をもって定めることとされている。

※ 重度身体障害者又は重度知的障害者については、その1人の雇用をもって、2人の身体障害者又は知的障害者を雇用しているものとしてカウントされる。

※ 重度身体障害者又は重度知的障害者である短時間労働者（1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の労働者）については、1人分として、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者については、0.5人分としてカウントされる。

◎ 障害者雇用率達成指導の流れ

実雇用率の低い事業主については、下記の流れで雇用率達成指導を行い、「雇入れ計画」の着実な実施による障害者雇用の推進を指導している。



不足数の特に多い企業については、当該企業の幹部に対し、厚生労働省本省による直接指導も実施している。

〔指導実績〕

○ 平成24年度の実績

- * 「雇入れ計画作成命令」の発出 221社
- * 雇入れ計画の「適正実施勧告」 252社
- * 「特別指導」の実施 49社

○ 雇入れ計画を実施中の企業 785社（24年度）

○ 企業名の公表

平成3年度 4社、15年度 1社、16年度 1社、17年度 2社、
18年度 2社、19年度 3社（うち1社は再公表）、20年度 4社、
21年度 7社（うち1社は再公表）、22年度 6社（うち2社は再公表）
23年度 3社（うち1社は再公表）、24年度 0社

※平成24年1月1日以降の日を始期とする雇入れ計画から計画期間は3年間から2年間に短縮している。

1 民間企業における雇用状況（法定雇用率2.0％）

(1) 概況

① 概況

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用率達成企業の数	⑥ 法定雇用率達成企業の割合
			A.重度身体障害者及び重度知的障害者	B.重度身体障害者及び重度知的障害者である短時間労働者	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者	D.重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者	E. 計 A×2+B+C+D×0.5	F. うち新規雇用分			
民間企業	企業	人	人	人	人	人	人	人	%	企業	%
	85,314	23,213,401.0	99,560	11,197	184,179	28,903	408,947.5	41,906.0	1.76	36,413	42.7
	(76,308)	(22,577,527.0)	(95,164)	(9,806)	(170,977)	(22,505)	(382,363.5)	(34,637.0)	(1.69)	(35,694)	(46.8)

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間労働者	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	a.重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間労働者	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	c.精神障害者	d. 精神障害者である短時間労働者	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇用分
民間企業	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	408,947.5	84,682	8,126	120,536	11,545	303,798.5	25,239.0	14,878	3,071	45,368	9,471	82,930.5	10,530.5	18,275	7,887	22,218.5	6,136.5
	(382,363.5)	(81,393)	(7,117)	(116,364)	(9,493)	(291,013.5)	(21,923.5)	(13,771)	(2,689)	(40,792)	(7,440)	(74,743.0)	(8,554.5)	(13,821)	(5,572)	(16,607.0)	(4,159.0)

[1(1)①表の注]

- 注1 ②欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数」とは、常用労働者総数から除外率相当数(身体障害者及び知的障害者が就業することが困難であると認められる職種が相当の割合を占める業種について定められた率を乗じて得た数)を除いた労働者数である。
- 2 ③A欄の「重度身体障害者及び重度知的障害者」については法律上、1人を2人に相当するものとしており、E欄の計を算出するに当たりダブルカウントを行い、D欄の「重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者」については法律上、1人を0.5人に相当するものとしており、E欄の計を算出するに当たり0.5カウントとしている。
- 3 A、C欄は1週間の所定労働時間が30時間以上の労働者であり、B、D欄は1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の労働者である。
- 4 F欄の「うち新規雇用分」は、平成24年6月2日から平成25年6月1日までの1年間に新規に雇い入れられた障害者数である。
- 5 ()内は平成24年6月1日現在の数値である。
なお、精神障害者は平成18年4月1日から実雇用率に算定されることとなった。

[1(1)②表の注]

- 注1 ①欄の「障害者の数」とは②③④のe欄の計である。
- 2 ②③a欄の重度障害者については法律上、1人を2人に相当するものとしており、e欄の計を算出するに当たりダブルカウントとしている。
- 3 ②③④d欄の重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者については法律上、1人を0.5人に相当するものとしており、e欄を算出するに当たり0.5カウントとしている。
- 4 ②③のa.c欄及び④のc欄は1週間の所定労働時間が30時間以上の労働者であり、②③のb欄及び④のd欄は1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の労働者である。
- 5 ②③④f欄の「うち新規雇用分」は、平成24年6月2日から平成25年6月1日までの1年間に新規に雇い入れられた障害者数である。
- 6 ()内は平成24年6月1日現在の数値である。
なお、精神障害者は平成18年4月1日から実雇用率に算定されることとなった。

(2) 企業規模別の雇用状況

① 概況

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる 労働者数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用率達成企業の数	⑥ 法定雇用率達成企業の割合
			A.重度身体障害者及び重度知的障害者	B.重度身体障害者及び重度知的障害者である短時間労働者	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者	D.重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者	E. 計 A×2+B+C+D ×0.5	F. うち新規雇用分			
規模計	企業 85,314 (76,308)	人 23,213,401.0 (22,577,527.0)	人 99,560 (95,164)	人 11,197 (9,806)	人 184,179 (170,977)	人 28,903 (22,505)	人 408,947.5 (382,363.5)	人 41,906.0 (34,637.0)	% 1.76 (1.69)	企業 36,413 (35,694)	% 42.7 (46.8)
50～ 56人未満	企業 5,470 (-)	人 288,097.0 (-)	人 931 (-)	人 224 (-)	人 2,079 (-)	人 647 (-)	人 4,488.5 (-)	人 434.5 (-)	% 1.56 (-)	企業 1,885 (-)	% 34.5 (-)
56～ 100人未満	企業 32,603 (29,599)	人 2,367,396.0 (2,186,941.0)	人 6,917 (6,624)	人 1,358 (1,089)	人 16,014 (14,670)	人 3,431 (2,581)	人 32,921.5 (30,297.5)	人 3,055.5 (2,514.5)	% 1.39 (1.39)	企業 14,514 (12,928)	% 44.5 (43.7)
100～ 300人未満	33,497 (33,003)	5,156,348.0 (5,094,595.0)	17,229 (16,512)	2,797 (2,442)	37,258 (35,162)	7,289 (5,589)	78,157.5 (73,422.5)	8,346.0 (7,268.0)	1.52 (1.44)	14,585 (16,010)	43.5 (48.5)
300～ 500人未満	6,385 (6,436)	2,272,784.5 (2,292,805.5)	9,244 (9,069)	1,232 (1,104)	17,597 (16,895)	2,913 (2,518)	38,773.5 (37,396.0)	4,266.0 (3,637.0)	1.71 (1.63)	2,537 (3,014)	39.7 (46.8)
500～ 1000人未満	4,274 (4,190)	2,757,609.0 (2,709,840.5)	12,184 (11,688)	1,243 (1,113)	21,723 (20,378)	2,915 (2,376)	48,791.5 (46,055.0)	5,257.5 (4,537.0)	1.77 (1.70)	1,605 (1,972)	37.6 (47.1)
1,000人以上	3,085 (3,080)	10,371,166.5 (10,293,345.0)	53,055 (51,271)	4,343 (4,058)	89,508 (83,872)	11,708 (9,441)	205,815.0 (195,192.5)	20,546.5 (16,680.5)	1.98 (1.90)	1,287 (1,770)	41.7 (57.5)

注 1(1)①の表と同じ

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間労働者	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d ×0.5	f. うち新規雇用分	a.重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間労働者	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	c.精神障害者	d. 精神障害者である短時間労働者	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇用分
規模計	人 408,947.5 (382,363.5)	人 84,682 (81,393)	人 8,126 (7,117)	人 120,536 (116,364)	人 11,545 (9,493)	人 303,798.5 (291,013.5)	人 25,239.0 (21,923.5)	人 14,878 (13,771)	人 3,071 (2,689)	人 45,368 (40,792)	人 9,471 (7,440)	人 82,930.5 (74,743.0)	人 10,530.5 (8,554.5)	人 18,275 (13,821)	人 7,887 (5,572)	人 22,218.5 (16,607.0)	人 6,136.5 (4,159.0)
50～ 56人未満	人 4,488.5 (-)	人 660.0 (-)	人 129 (-)	人 1,199 (-)	人 208 (-)	人 2,752 (-)		人 271 (-)	人 95 (-)	人 677 (-)	人 195 (-)	人 1,411.5 (-)		人 203 (-)	人 244 (-)	人 325.0 (-)	
56～ 100人未満	人 32,921.5 (30,297.5)	人 5,308 (4,892)	人 855 (673)	人 10,355 (9,398)	人 1,196 (846)	人 22,424.0 (20,278.0)		人 1,609 (1,732)	人 503 (416)	人 4,542 (4,384)	人 1,269 (1,033)	人 8,897.5 (8,780.5)		人 1,117 (888)	人 966 (702)	人 1,600.0 (1,239.0)	
100～ 300人未満	人 78,157.5 (73,422.5)	人 14,238 (13,668)	人 1,937 (1,631)	人 25,146 (24,478)	人 2,937 (2,395)	人 57,027.5 (54,642.5)		人 2,991 (2,844)	人 860 (811)	人 8,906 (8,263)	人 2,408 (1,858)	人 16,952.0 (15,691.0)		人 3,206 (2,421)	人 1944 (1336)	人 4,178.0 (3,089.0)	
300～ 500人未満	人 38,773.5 (37,396.0)	人 7,866 (7,740)	人 879 (811)	人 11,703 (11,626)	人 1,167 (1,034)	人 28,897.5 (28,434.0)		人 1,378 (1,329)	人 353 (293)	人 4,090 (3,876)	人 967 (815)	人 7,682.5 (7,234.5)		人 1,804 (1,393)	人 779 (669)	人 2,193.5 (1,727.5)	
500～ 1000人未満	人 48,791.5 (46,055.0)	人 10,655 (10,286)	人 912 (807)	人 14,448 (14,154)	人 1,285 (1,124)	人 37,312.5 (36,095.0)		人 1,529 (1,402)	人 331 (306)	人 4,937 (4,497)	人 895 (702)	人 8,773.5 (7,958.0)		人 2,338 (1,727)	人 735 (550)	人 2,705.5 (2,002.0)	
1,000以上	人 205,815.0 (195,192.5)	人 45,955 (44,807)	人 3,414 (3,195)	人 57,685 (56,708)	人 4,752 (4,094)	人 155,385.0 (151,564.0)		人 7,100 (6,464)	人 929 (863)	人 22,216 (19,772)	人 3,737 (3,032)	人 39,213.5 (35,079.0)		人 9,607 (7,392)	人 3219 (2,315)	人 11,216.5 (8,549.5)	

注 1(1)②表と同じ

(3) 産業別の雇用状況

① 概況

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる労働 者数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用率達 成企業の数	⑥ 法定雇用率 達成企業の 割合
			A.重度身体 障害者及び 重度知的障 害者	B.重度身体 障害者及び 重度知的障 害者である短 時間労働者	C. 重度以外 の身体障害 者、知的障害 者及び精神 障害者	D.重度以外の 身体障害者及 び知的障害者 並びに精神障 害者である短時 間労働者	E. 計 A×2+B+C+D ×0.5	F. うち新規雇用 分			
産業計	企業 85,314 (76,308)	人 23,213,401.0 (22,577,527.0)	人 99,560 (95,164)	人 11,197 (9,806)	人 184,179 (170,977)	人 28,903 (22,505)	人 408,947.5 (382,363.5)	人 41,906.0 (34,637.0)	% 1.76 (1.69)	企業 36,413 (35,694)	% 42.7 (46.8)
農、林、漁業	企業 287 (217)	人 31,759.5 (27,181.0)	人 117 (90)	人 10 (8)	人 322 (270)	人 29 (20)	人 580.5 (468.0)	人 47.5 (37.5)	% 1.83 (1.72)	企業 149 (122)	% 51.9 (56.2)
鉱業,採石業, 砂利採取業	55 (42)	9,050.0 8,431.0	37 (29)	3 (4)	75 (61)	4 (3)	154.0 (124.5)	15.5 (4.0)	1.70 (1.48)	28 (24)	50.9 (57.1)
建設業	3,056 (2,576)	642,390.5 615,500.0	2,857 (2,678)	91 (66)	4,275 (3,890)	114 (78)	10,137.0 (9,351.0)	798.5 (660.0)	1.58 (1.52)	1,317 (1,218)	43.1 (47.3)
製造業	22,501 (20,538)	6,623,557.5 6,597,765.5	32,789 (32,245)	1,282 (1,120)	54,876 (52,524)	2,559 (1,969)	123,015.5 (119,118.5)	8,202.5 (6,946.0)	1.86 (1.81)	11,384 (11,383)	50.6 (55.4)
電気・ガス・熱供 給・水道業	225 (193)	220,266.5 219,326.5	1,149 (1,097)	17 (20)	1,928 (1,877)	36 (32)	4,261.0 (4,107.0)	209.5 (119.5)	1.93 (1.87)	92 (96)	40.9 (49.7)
情報通信業	4,200 (3,683)	1,314,825.5 1,251,975.0	5,563 (5,138)	212 (156)	7,948 (7,276)	302 (215)	19,437.0 (17,815.5)	2,247.5 (1,645.5)	1.48 (1.42)	929 (999)	22.1 (27.1)
運輸業,郵便業	6,172 (5,514)	1,445,952.5 1,407,254.0	5,865 (5,481)	638 (577)	13,255 (12,277)	1,511 (1,264)	26,378.5 (24,448.0)	2,574.5 (2,214.0)	1.82 (1.74)	2,957 (2,821)	47.9 (51.2)
卸売業,小売業	14,125 (12,789)	3,974,103.5 3,843,701.5	13,489 (12,614)	2,456 (2,195)	28,793 (26,289)	7,585 (6,083)	62,019.5 (56,753.5)	7,594.5 (5,994.0)	1.56 (1.48)	4,496 (4,600)	31.8 (36.0)
金融業,保険業	1,337 (1,264)	1,148,971.0 1,192,784.5	5,707 (5,782)	202 (168)	9,250 (9,096)	312 (261)	21,022.0 (20,958.5)	1,983.5 (1,521.0)	1.83 (1.76)	449 (527)	33.6 (41.7)
不動産業, 物品賃貸業	1,437 (1,243)	357,461.0 346,464.5	1,198 (1,152)	158 (162)	2,391 (2,183)	366 (331)	5,128.0 (4,814.5)	679.5 (532.0)	1.43 (1.39)	429 (419)	29.9 (33.7)
学研究,専門・技術サー ビス業	2,230 (1,944)	686,214.5 562,817.0	2,760 (2,270)	358 (272)	4,578 (3,212)	1,201 (810)	11,056.5 (8,429.0)	1,051.0 (681.5)	1.61 (1.50)	664 (666)	29.8 (34.3)
宿泊業,飲食 サービス業	2,529 (2,264)	712,280.5 668,552.5	2,259 (2,006)	813 (776)	5,424 (4,871)	2,368 (1,798)	11,939.0 (10,558.0)	1,667.0 (1,397.0)	1.68 (1.58)	981 (926)	38.8 (40.9)
生活関連サー ビス業,娯楽業	2,727 (2,428)	513,764.5 561,055.0	2,239 (2,412)	391 (374)	4,809 (5,198)	1,039 (968)	10,197.5 (10,880.0)	1,085.5 (1,080.5)	1.98 (1.94)	979 (938)	35.9 (38.6)
教育,学習支援業	1,785 (1,618)	408,149.5 390,274.5	1,602 (1,552)	128 (113)	2,471 (2,260)	197 (132)	5,901.5 (5,543.0)	647.0 (517.5)	1.45 (1.42)	648 (672)	36.3 (41.5)
医療,福祉	13,564 (11,880)	2,371,611.0 2,190,148.0	10,805 (10,088)	2,734 (2,263)	20,741 (18,312)	7,249 (5,303)	48,709.5 (43,402.5)	6,689.0 (5,743.5)	2.05 (1.98)	7,284 (6,741)	53.7 (56.7)
複合サービス事業	931 (887)	300,024.0 299,439.5	1,205 (1,178)	105 (100)	2,293 (2,236)	170 (150)	4,893.0 (4,767.0)	370.0 (317.0)	1.63 (1.59)	387 (436)	41.6 (49.2)
サービス業	8,153 (7,228)	2,453,019.5 2,394,857.0	9,919 (9,352)	1,599 (1,432)	20,750 (19,145)	3,861 (3,088)	44,117.5 (40,825.0)	6,043.5 (5,226.5)	1.80 (1.70)	3,240 (3,106)	39.7 (43.0)

注 1 (1) ①の表と同じ

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間労働者	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	a.重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間労働者	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	c.精神障害者	d. 精神障害者である短時間労働者	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇用分
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
産業計	408,947.5 (382,363.5)	84,682 (81,393)	8,126 (7,117)	120,536 (116,364)	11,545 (9,493)	303,798.5 (291,013.5)	25,239.0 (21,923.5)	14,878 (13,771)	3,071 (2,689)	45,368 (40,792)	9,471 (7,440)	82,930.5 (74,743.0)	10,530.5 (8,554.5)	18,275 (13,821)	7,887 (5,572)	22,218.5 (16,607.0)	6,136.5 (4,159.0)
農、林、漁業	580.5 (468.0)	77 64	8 4	176 150	16 8	346.0 (286.0)		40 26	2 4	126 104	10 10	213.0 (165.0)		20 16	3 2	21.5 (17.0)	
鉱業,採石業,砂利採取業	154.0 (124.5)	35 29	3 4	71 60	3 3	145.5 (123.5)		2 0	0 0	3 1	1 0	7.5 (1.0)		1 0	0 0	1.0 (0.0)	
建設業	10,137.0 (9,351.0)	2,777 2,616	87 63	3,740 3,453	75 52	9,418.5 (8,774.0)		80 62	4 3	224 185	9 7	392.5 (315.5)		311 252	30 19	326.0 (261.5)	
製造業	123,015.5 (119,118.5)	28,249 27,991	962 820	36,901 36,594	1,302 1,056	95,012.0 (93,924.0)		4,540 (4,254)	320 300	14,095 (12,892)	780 594	23,885.0 (21,997.0)		3,880 (3,038)	477 319	4,118.5 (3,197.5)	
電気・ガス・熱供給・水道業	4,261.0 (4,107.0)	1,111 1,057	17 20	1,696 1,677	26 26	3,948.0 (3,824.0)		38 40	0 0	125 121	2 1	202.0 (201.5)		107 79	8 5	111.0 (81.5)	
情報通信業	19,437.0 (17,815.5)	5,364 4,939	206 149	6,139 5,834	179 140	17,162.5 (15,931.0)		199 199	6 7	423 415	16 7	835.0 (823.5)		1,386 (1,027)	107 68	1,439.5 (1,061.0)	
運輸業,郵便業	26,378.5 (24,448.0)	5,101 4,755	507 457	9,832 9,447	863 755	20,972.5 (19,791.5)		764 726	131 120	2,359 (2,035)	360 291	4,198.0 (3,752.5)		1,064 795	288 218	1,208.0 (904.0)	
卸売業,小売業	62,019.5 (56,753.5)	11,065 10,403	1,809 1,612	15,465 14,789	2,737 2,332	40,772.5 (38,373.0)		2,424 (2,211)	647 583	9,982 (8,995)	2,559 (2,131)	16,756.5 (15,065.5)		3,346 (2,505)	2,289 1,620	4,490.5 (3,315.0)	
金融業,保険業	21,022.0 (20,958.5)	5,556 5,660	197 166	8,239 8,345	266 230	19,681.0 (19,946.0)		151 122	5 2	364 311	6 3	674.0 (558.5)		647 440	40 28	667.0 (454.0)	
不動産業,物品賃貸業	5,128.0 (4,814.5)	1,086 1,054	142 142	1,625 1,523	175 171	4,026.5 (3,858.5)		112 98	16 20	509 465	79 69	788.5 (715.5)		257 195	112 91	313.0 (240.5)	
学術研究,専門・技術サービス業	11,056.5 (8,429.0)	2,525 2,112	285 220	3,134 2,453	452 322	8,695.0 (7,058.0)		235 158	73 52	973 474	493 369	1,762.5 (1,026.5)		471 285	256 119	599.0 (344.5)	
宿泊業,飲食サービス業	11,939.0 (10,558.0)	1,391 1,300	443 464	2,195 2,099	659 561	5,749.5 (5,443.5)		868 706	370 312	2,715 (2,377)	1,157 842	5,399.5 (4,522.0)		514 395	552 395	790.0 (592.5)	
生活関連サービス業,娯楽業	10,197.5 (10,880.0)	1,308 1,434	241 251	2,103 2,241	398 405	5,159.0 (5,562.5)		931 978	150 123	2,176 (2,519)	313 271	4,344.5 (4,733.5)		530 438	328 292	694.0 (584.0)	
教育・学習支援業	5,901.5 (5,543.0)	1,499 1,451	109 98	1,960 1,883	120 81	5,127.0 (4,923.5)		103 101	19 15	263 218	18 12	497.0 (441.0)		248 159	59 39	277.5 (178.5)	
医療,福祉	48,709.5 (43,402.5)	8,572 7,992	1,715 1,402	12,519 11,393	1,980 1,441	32,368.0 (29,499.5)		2,233 (2,096)	1,019 861	6,027 (5,259)	2,839 (2,163)	12,931.5 (11,393.5)		2,195 (1,660)	2,430 1,699	3,410.0 (2,509.5)	
複合サービス事業	4,893.0 (4,767.0)	1,065 1,049	69 65	1,741 1,752	73 65	3,976.5 (3,947.5)		140 129	36 35	352 324	55 50	695.5 (642.0)		200 160	42 35	221.0 (177.5)	
サービス業	44,117.5 (40,825.0)	7,901 7,487	1,326 1,180	13,000 12,671	2,221 1,845	31,238.5 (29,747.5)		2,018 (1,865)	273 252	4,652 (4,097)	774 620	9,348.0 (8,389.0)		3,098 (2,377)	866 623	3,531.0 (2,688.5)	

注 1 (1)②の表と同じ

③ 製造業における雇用状況（概況）

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用率達成企業の数	⑥ 法定雇用率達成企業の割合
			A. 重度身体障害者及び重度知的障害者	B. 重度身体障害者及び重度知的障害者である短時間労働者	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者	D. 重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者	E. 計 A×2+B+C+D×0.5	F. うち新規雇用分			
製造業計	企業	人	人	人	人	人	人	人	%	企業	%
	22, 501	6, 623, 557. 5	32, 789	1, 282	54, 876	2, 559	123, 015. 5	8, 202. 0	1. 86	11, 384	50. 6
	(20, 538)	(6, 597, 765. 5)	(32, 245)	(1, 120)	(52, 524)	(1, 969)	(119, 118. 5)	(6, 946. 0)	(1. 81)	(11, 383)	(55. 4)
食料品・たばこ	企業	人	人	人	人	人	人	人	%	企業	%
	3, 628	878, 247. 5	3, 532	429	9, 826	936	17, 787. 0	1, 542. 5	2. 03	2, 138	58. 9
	(3, 323)	(860, 784. 5)	(3, 433)	(399)	(9, 125)	(846)	(16, 813. 0)	(1, 318. 0)	(1. 95)	(2, 083)	(62. 7)
繊維・衣服	921	155, 328. 0	761	44	1, 565	82	3, 172. 0	314. 5	2. 04	567	61. 6
	(822)	(147, 586. 0)	(706)	(38)	(1, 440)	(73)	(2, 926. 5)	(159. 0)	(1. 98)	(528)	(64. 2)
木材・家具	456	74, 643. 0	328	21	771	24	1, 460. 0	114. 0	1. 96	263	57. 7
	(397)	(71, 221. 5)	(315)	(9)	(729)	(12)	(1, 374. 0)	(72. 5)	(1. 93)	(257)	(64. 7)
パルプ・紙・印刷	1, 767	337, 574. 5	1, 482	69	2, 843	135	5, 943. 5	363. 5	1. 76	852	48. 2
	(1, 603)	(327, 791. 0)	(1, 389)	(51)	(2, 626)	(97)	(5, 503. 5)	(231. 0)	(1. 68)	(838)	(52. 3)
化学工業	2, 341	815, 892. 0	4, 058	132	6, 482	215	14, 837. 5	1, 019. 5	1. 82	1, 050	44. 9
	(2, 157)	(812, 850. 0)	(3, 959)	(136)	(6, 228)	(163)	(14, 363. 5)	(947. 0)	(1. 77)	(1, 077)	(49. 9)
窯業・土石	640	142, 608. 5	630	18	1, 216	54	2, 521. 0	127. 5	1. 77	325	50. 8
	(566)	(124, 084. 5)	(500)	(13)	(1, 075)	(55)	(2, 115. 5)	(83. 5)	(1. 70)	(305)	(53. 9)
鉄鋼	491	140, 244. 5	592	30	1, 230	37	2, 462. 5	145. 0	1. 76	246	50. 1
	(461)	(169, 727. 0)	(735)	(24)	(1, 450)	(33)	(2, 960. 5)	(158. 5)	(1. 74)	(265)	(57. 5)
非鉄金属	468	134, 755. 0	666	22	1, 083	32	2, 453. 0	156. 0	1. 82	228	48. 7
	(412)	(131, 602. 0)	(620)	(16)	(1, 040)	(25)	(2, 308. 5)	(154. 0)	(1. 75)	(216)	(52. 4)
金属製品	1, 897	299, 763. 0	1, 326	48	2, 633	82	5, 374. 0	310. 5	1. 79	965	50. 9
	(1, 646)	(289, 692. 0)	(1, 304)	(39)	(2, 431)	(66)	(5, 111. 0)	(311. 0)	(1. 76)	(911)	(55. 3)
電気機械	2, 275	1, 074, 547. 0	6, 482	135	7, 514	186	20, 706. 0	936. 5	1. 93	1, 146	50. 4
	(2, 144)	(1, 095, 885. 0)	(6, 459)	(107)	(7, 471)	(160)	(20, 576. 0)	(828. 5)	(1. 88)	(1, 187)	(55. 4)
その他機械	5, 134	1, 883, 181. 5	9, 688	200	14, 143	362	33, 900. 0	2, 222. 5	1. 80	2, 420	47. 1
	(4, 797)	(1, 905, 639. 5)	(9, 660)	(196)	(13, 835)	(293)	(33, 497. 5)	(2, 014. 5)	(1. 76)	(2, 548)	(53. 1)
その他	2, 483	686, 773. 0	3, 244	134	5, 570	414	12, 399. 0	950. 0	1. 81	1, 184	47. 7
	(2, 210)	(660, 902. 5)	(3, 165)	(92)	(5, 074)	(146)	(11, 569. 0)	(668. 5)	(1. 75)	(1, 168)	(52. 9)

注 1 (1)①の表と同じ

④ 製造業における雇用状況（障害種別）

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数					③知的障害者の数					④精神障害者の数		
		a.重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間労働者	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	a.重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間労働者	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	c.精神障害者	d. 精神障害者である短時間労働者	e. 計 c+d×0.5
製造業計	人 123,015.5 (119,118.5)	人 28,249 (27,991)	人 962 (820)	人 36,901 (36,594)	人 1,302 (1,056)	人 95,012.0 (93,924.0)	人 4,540 (4,254)	人 320 (300)	人 14,095 (12,892)	人 780 (594)	人 23,885.0 (21,997.0)	人 3,880 (3,038)	人 477 (319)	人 4,118.5 (3,197.5)
食料品・たばこ	人 17,787.0 (16,813.0)	人 2,361 (2,308)	人 282 (250)	人 4,570 (4,373)	人 379 (355)	人 9,763.5 (9,416.5)	人 1,171 (1,125)	人 147 (149)	人 4,732 (4,356)	人 414 (365)	人 7,428.0 (6,937.5)	人 524 (396)	人 143 (126)	人 595.5 (459.0)
繊維工業	人 3,172.0 (2,926.5)	人 625 (592)	人 33 (34)	人 1,016 (951)	人 52 (47)	人 2,325.0 (2,192.5)	人 136 (114)	人 11 (4)	人 448 (419)	人 20 (17)	人 741.0 (659.5)	人 101 (70)	人 10 (9)	人 106.0 (74.5)
木材・家具	人 1,460.0 (1,374.0)	人 291 (289)	人 16 (8)	人 504 (500)	人 7 (5)	人 1,105.5 (1,088.5)	人 37 (26)	人 5 (1)	人 214 (192)	人 16 (6)	人 301.0 (248.0)	人 53 (37)	人 1 (1)	人 53.5 (37.5)
パルプ・紙・印刷	人 5,943.5 (5,503.5)	人 1,315 (1,251)	人 50 (39)	人 2,003 (1,919)	人 76 (57)	人 4,721.0 (4,488.5)	人 167 (138)	人 19 (12)	人 639 (579)	人 25 (23)	人 1,004.5 (878.5)	人 201 (128)	人 34 (17)	人 218.0 (136.5)
化学工業	人 14,837.5 (14,363.5)	人 3,330 (3,285)	人 105 (92)	人 4,778 (4,767)	人 123 (86)	人 11,604.5 (11,472.0)	人 728 (674)	人 27 (44)	人 1,236 (1,126)	人 48 (40)	人 2,743.0 (2,538.0)	人 468 (335)	人 44 (37)	人 490.0 (353.5)
窯業・土石	人 2,521.0 (2,115.5)	人 550 (423)	人 14 (10)	人 859 (782)	人 28 (26)	人 1,987.0 (1,651.0)	人 80 (77)	人 4 (3)	人 298 (248)	人 19 (18)	人 471.5 (414.0)	人 59 (45)	人 7 (11)	人 62.5 (50.5)
鉄鋼	人 2,462.5 (2,960.5)	人 546 (684)	人 27 (22)	人 1,032 (1,234)	人 28 (30)	人 2,165.0 (2,639.0)	人 46 (51)	人 3 (2)	人 118 (139)	人 6 (0)	人 216.0 (243.0)	人 80 (77)	人 3 (3)	人 81.5 (78.5)
非鉄金属	人 2,453.0 (2,308.5)	人 550 (516)	人 18 (13)	人 778 (751)	人 19 (15)	人 1,905.5 (1,803.5)	人 116 (104)	人 4 (3)	人 221 (200)	人 12 (9)	人 463.0 (415.5)	人 84 (89)	人 1 (1)	人 84.5 (89.5)
金属製品	人 5,374.0 (5,111.0)	人 1,045 (1,026)	人 36 (33)	人 1,670 (1,609)	人 53 (47)	人 3,822.5 (3,717.5)	人 281 (278)	人 12 (6)	人 788 (707)	人 8 (8)	人 1,366.0 (1,273.0)	人 175 (115)	人 21 (11)	人 185.5 (120.5)
電気機械	人 20,706.0 (20,576.0)	人 5,993 (5,982)	人 107 (83)	人 5,744 (5,771)	人 116 (98)	人 17,895.0 (17,867.0)	人 489 (477)	人 28 (24)	人 1,182 (1,182)	人 47 (32)	人 2,211.5 (2,176.0)	人 588 (518)	人 23 (30)	人 599.5 (533.0)
その他機械	人 33,900.0 (33,497.5)	人 8,836 (8,881)	人 166 (162)	人 10,140 (10,327)	人 255 (206)	人 28,105.5 (28,354.0)	人 852 (779)	人 34 (34)	人 2,895 (2,613)	人 56 (37)	人 4,661.0 (4,223.5)	人 1,108 (895)	人 51 (50)	人 1133.5 (920.0)
その他	人 12,399.0 (11,569.0)	人 2,807 (2,754)	人 108 (74)	人 3,807 (3,610)	人 166 (84)	人 9,612.0 (9,234.0)	人 437 (411)	人 26 (18)	人 1,324 (1,131)	人 109 (39)	人 2,278.5 (1,990.5)	人 439 (333)	人 139 (23)	人 508.5 (344.5)

注 1 (1)②の表と同じ

(4) 民間企業における雇用状況の推移

(各年6月1日現在)							
年		障害者の数(人)		実雇用率(%)		法定雇用率達成企業の割合(%)	
			対前年増減		対前年増減		対前年増減
昭和	52 年	128,429		1.09		52.8	
	53	126,493	△ 1,936	1.11	0.02	52.1	△ 0.7
	54	128,493	2,000	1.12	0.01	52.0	△ 0.1
	55	135,228	6,735	1.13	0.01	51.6	△ 0.4
	56	144,713	9,485	1.18	0.05	53.4	1.8
	57	152,603	7,890	1.22	0.04	53.8	0.4
	58	155,515	2,912	1.23	0.01	53.5	△ 0.3
	59	159,909	4,394	1.25	0.02	53.6	0.1
	60	168,276	8,367	1.26	0.01	53.5	△ 0.1
	61	170,247	1,971	1.26	0.00	53.8	0.3
	62	171,880	1,633	1.25	△ 0.01	53.0	△ 0.8
	63	187,115	15,235	1.31	0.06	51.5	△ 1.5
		(177,708)	(5,828)	(1.25)	(0.00)		
平成	元 年	195,276	8,161	1.32	0.01	51.6	0.1
	2	203,634	8,358	1.32	0.00	52.2	0.6
	3	214,814	11,180	1.32	0.00	51.8	△ 0.4
	4	229,627	14,813	1.36	0.04	51.9	0.1
	5	240,985	11,358	1.41	0.05	51.4	△ 0.5
		(237,621)	(7,994)	(1.39)	(0.03)		
	6	245,348	4,363	1.44	0.03	50.4	△ 1.0
	7	247,077	1,729	1.45	0.01	50.6	0.2
	8	247,982	905	1.47	0.02	50.5	△ 0.1
	9	250,030	2,048	1.47	0.00	50.2	△ 0.3
	10	251,443	1,413	1.48	0.01	50.1	△ 0.1
	11	254,562	3,119	1.49	0.01	44.7	△ 5.4
		(249,920)	(△ 1,523)	(1.48)	(0.00)		
	12	252,836	△ 1,726	1.49	0.00	44.3	△ 0.4
	13	252,870	34	1.49	0.00	43.7	△ 0.6
	14	246,284	△ 6,586	1.47	△ 0.02	42.5	△ 1.2
	15	247,093	809	1.48	0.01	42.5	0.0
	16	257,939	10,846	1.46	△ 0.02	41.7	△ 0.8
	17	269,066	11,127	1.49	0.03	42.1	0.4
	18	283,750.5	14,684.5	1.52	0.03	43.4	1.3
		(281,833)	(12,767)	(1.51)	(0.02)		
	19	302,716.0	18,965.5	1.55	0.03	43.8	0.4
	20	325,603	22,887	1.59	0.04	44.9	1.1
	21	332,811.5	7,208.5	1.63	0.04	45.5	0.6
	22	342,973.5	10,162.0	1.68	0.05	47.0	1.5
	23	366,199.0	23,225.5	1.65	△ 0.03	45.3	△ 1.7
		(359,492.0)	(16,518.5)	(1.75)	(0.07)		
	24	382,363.5	16,164.5	1.69	0.04	46.8	1.5
	25	408,947.5	26,584.0	1.76	0.07	42.7	△ 4.1
		(404,459.0)	(22,095.5)	(1.76)	(0.07)		

注1
障害者の数とは、次に掲げる者の合計である。

～昭和62年
身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）

昭和63年～平成4年
身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）、
知的障害者

平成5年～平成17年
身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）、
知的障害者（重度知的障害者はダブルカウント）、
重度身体障害者又は重度知的障害者である短時間労働者

平成18年
身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）、
知的障害者（重度知的障害者はダブルカウント）、
精神障害者、
重度身体障害者、重度知的障害者又は精神障害者である短時間労働者
（精神障害者である短時間労働者は0.5カウント）

平成23年
身体障害者（重度身体障害者はダブルカウント）、
知的障害者（重度知的障害者はダブルカウント）、
精神障害者、
重度身体障害者、重度知的障害者、重度以外身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である
短時間労働者（重度以外身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者は0.5カウント）

注2
（ ）内は、それぞれ前年度の改正前の制度に基づいて計算した場合の数値である。

(5) 障害者不足数階級別の法定雇用率未達成企業数

区分	①法定雇用率 未達成企業 の数	②不足数								③障害者の 数が0人で ある企業数
		0.5人又は1人	1.5人又は2人	2.5人又は3人	3.5人又は4人	4.5人以上 9人以下	9.5人以上 20人以下	20.5人以上 50人以下	50.5人以上	
規模計	48,901 (100.0%)	30,361 (62.1%)	10,492 (21.5%)	3,769 (7.7%)	1,941 (4.0%)	1,971 (4.0%)	291 (0.6%)	67 (0.1%)	9 (0.0%)	29,147 (59.6%)
50-56人未満	3,585 (100.0%)	3,585 (100.0%)	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	3,474 (96.9%)
56-100人未満	18,089 (100.0%)	18,089 (100.0%)	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	17,521 (96.9%)
100-300人未満	18,912 (100.0%)	7,136 (37.7%)	8,878 (46.9%)	2,281 (12.1%)	530 (2.8%)	87 (0.5%)	— —	— —	— —	8,081 (42.7%)
300-500人未満	3,848 (100.0%)	888 (23.1%)	912 (23.7%)	797 (20.7%)	705 (18.3%)	546 (14.2%)	— —	— —	— —	65 (1.7%)
500-1000人未満	2,669 (100.0%)	480 (18.0%)	492 (18.4%)	494 (18.5%)	467 (17.5%)	694 (26.0%)	42 (1.6%)	— —	— —	6 (0.2%)
1,000人以上	1,798 (100.0%)	183 (10.2%)	210 (11.7%)	197 (11.0%)	239 (13.3%)	644 (35.8%)	249 (13.8%)	67 (3.7%)	9 (0.5%)	0 (0.0%)

注 1 上段は企業数、下段は当該企業規模階級内における構成比。
2 ②欄の「不足数」とは、法定雇用率を達成するために、現在の雇用障害者数に加えて雇用しなければならない障害者の数である。

(6) 都道府県別の実雇用率等の状況

注 都道府県別の状況は、企業の主たる事務所(特例子会社等の認定を受けている企業にあつては、その親会社の主たる事務所)が所在する都道府県において、集計したものである。

都道府県名	実雇用率	(対前年増減)	法定雇用率達成 企業の割合	(対前年増減)	法定雇用率達成企業の数	
全国	1.76	0.07	42.7	△4.1	36,413	85,314
北海道	1.85	0.07	45.6	△4.5	1,425	3,124
青森	1.78	0.08	46.3	△1.2	385	831
岩手	1.87	0.08	49.6	△2.6	447	902
宮城	1.71	0.08	43.0	△3.4	576	1,339
秋田	1.67	0.11	51.1	△0.2	339	664
山形	1.79	0.15	50.3	△2.1	421	837
福島	1.69	0.05	46.6	△1.8	565	1,213
茨城	1.66	0.07	47.4	△4.0	641	1,351
栃木	1.68	0.09	46.2	△3.3	485	1,049
群馬	1.73	0.14	48.1	0.3	609	1,267
埼玉	1.71	0.09	39.9	△4.0	1,077	2,702
千葉	1.71	0.08	44.3	△4.6	898	2,026
東京	1.72	0.06	28.4	△5.3	5,008	17,626
神奈川	1.68	0.05	40.0	△5.1	1,631	4,077
新潟	1.65	0.06	44.7	△2.9	734	1,643
富山	1.80	0.09	54.3	△3.0	509	937
石川	1.69	0.12	48.4	△4.2	441	912
福井	2.27	0.00	51.3	△4.3	326	636
山梨	1.70	0.01	46.3	△6.4	238	514
長野	1.88	0.05	53.5	△7.4	787	1,472
岐阜	1.74	0.04	49.0	△3.9	648	1,322
静岡	1.72	0.07	46.0	△2.9	1,187	2,580
愛知	1.68	0.07	40.6	△3.2	2,171	5,350
三重	1.60	0.03	46.4	△3.8	459	989
滋賀	1.81	0.03	51.8	△2.9	381	735
京都	1.93	0.13	46.9	△2.8	745	1,588
大阪	1.76	0.07	40.7	△4.2	2,822	6,942
兵庫	1.84	0.05	47.4	△6.6	1,426	3,011
奈良	2.22	0.07	55.8	△3.5	277	496
和歌山	2.03	0.14	57.2	△3.4	309	540
鳥取	1.77	△0.03	53.6	△3.0	211	394
島根	1.89	0.01	57.2	△5.1	297	519
岡山	1.93	0.11	47.9	△1.9	623	1,301
広島	1.84	0.06	44.2	△4.3	887	2,007
山口	2.33	0.05	49.6	△6.8	426	859
徳島	1.78	0.10	53.3	△4.5	215	403
香川	1.86	0.11	59.2	△0.8	449	759
愛媛	1.73	0.02	43.9	△6.9	390	889
高知	1.94	△0.04	54.4	△2.0	264	485
福岡	1.76	0.07	45.6	△4.3	1,459	3,202
佐賀	2.17	0.04	63.6	△5.8	335	527
長崎	2.10	0.02	53.9	△3.1	491	911
熊本	2.08	0.11	51.5	△2.9	573	1,112
大分	2.15	0.05	55.0	△3.7	388	705
宮崎	2.04	0.08	59.3	△5.9	415	700
鹿児島	2.02	0.10	56.2	△3.5	591	1,051
沖縄	2.12	0.17	53.0	△4.7	432	815

(7) 特例子会社の状況

① 概況

区分	① 特例子会社数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数	③ 障害者の数				
			A. 重度身体障害者及び重度知的障害者	B. 重度身体障害者及び重度知的障害者である短時間労働者	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者	D. 重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者	E. 計 A×2+B+C+D×0.5
特例子会社	社 380 (349)	人 20,018.0 (17,456.5)	人 6,715 (5,932)	人 85 (85)	人 6,864 (5,714)	人 199 (161)	人 20,478.5 (17,743.5)

注 1(1)①の表と同じ
※ 本表は、親会社分を含まない、特例子会社分のみの集計である。

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数					③知的障害者の数					④精神障害者の数		
		a. 重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間労働者	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	a. 重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間労働者	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	c. 精神障害者	d. 精神障害者である短時間労働者	e. 計 c+d×0.5
特例子会社	人 20,478.5 (17,743.5)	人 3,654 (3,372)	人 43 (45)	人 1,685 (1,584)	人 23 (22)	人 9,047.5 (8,384.0)	人 3,061 (2,560)	人 42 (40)	人 3,930 (3,289)	人 47 (43)	人 10,117.5 (8,470.5)	人 1,249 (841)	人 129 (96)	人 1,313.5 (889.0)

注 1(1)②の表と同じ
※ 本表は、親会社分を含まない、特例子会社分のみの集計である。

◎ 「特例子会社」制度とは

障害者雇用率制度においては、障害者の雇用機会の確保（法定雇用率＝2.0％）は個々の事業主（企業）ごとに義務づけられている。その特例である「特例子会社」制度は、障害者の雇用の促進及び安定を図るため、事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、その子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、実雇用率を算定できることとしている。

2 国、地方公共団体における在職状況

(1) 国の機関（法定雇用率2.3%）

① 概況

区分	① 機関数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用率達成機関の数	⑥ 法定雇用率達成機関の割合
			A.重度身体障害者及び重度知的障害者	B.重度身体障害者及び重度知的障害者である短時間勤務職員	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者	D.重度以外身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間勤務職員	E. 計 A×2+B+C+D×0.5	F. うち新規雇用分			
計	機関 40 (39)	301,817.0 (307,130.5)	974 (956)	36 (31)	5,289 (5,090)	196 (144)	7,371.0 (7,105.0)	265.5 (327.5)	2.44 (2.31)	機関 39 (39)	97.5 (100.0)
行政機関	機関 31 (30)	273,402.5 (278,927.5)	900 (891)	36 (31)	4,734 (4,559)	194 (142)	6,667.0 (6,443.0)	250.0 (318.0)	2.44 (2.31)	機関 30 (30)	96.8 (100.0)
立法機関	5 (5)	3,536.0 (3,543.5)	13 (12)	0 (0)	56 (54)	1 (1)	82.5 (78.5)	4.5 (0.5)	2.33 (2.22)	5 (5)	100.0 (100.0)
司法機関	4 (4)	24,878.5 (24,659.5)	61 (53)	0 (0)	499 (477)	1 (1)	621.5 (583.5)	11.0 (9.0)	2.50 (2.37)	4 (4)	100.0 (100.0)

② 障害種別在職状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間勤務職員	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間勤務職員	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	a.重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間勤務職員	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間勤務職員	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	c.精神障害者	d. 精神障害者である短時間勤務職員	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇用分
計	7,371.0 (7,105.0)	941 (917)	30 (30)	4,753 (4,617)	119 (93)	6,724.5 (6,527.5)	110.0 (146.5)	33 (39)	6 (1)	176 (174)	28 (31)	262.0 (268.5)	104.5 (143.5)	360 (299)	49 (20)	384.5 (309.0)	51.0 (37.5)
行政機関	6,667.0 (6,443.0)	870 (855)	30 (30)	4,217 (4,099)	117 (91)	6,045.5 (5,884.5)	96.5 (137.0)	30 (36)	6 (1)	174 (171)	28 (31)	254.0 (259.5)	104.5 (143.5)	343 (289)	49 (20)	367.5 (299.0)	49.0 (37.5)
立法機関	82.5 (78.5)	10 (9)	0 (0)	44 (46)	1 (1)	64.5 (64.5)	2.5 (0.5)	3 (3)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	8.0 (9.0)	0.0 (0.0)	10 (5)	0 (0)	10.0 (5.0)	2.0 (0.0)
司法機関	621.5 (583.5)	61 (53)	0 (0)	492 (472)	1 (1)	614.5 (578.5)	11.0 (9.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	7 (5)	0 (0)	7.0 (5.0)	0.0 (0.0)

[2(1)①表の注]

- 注1 ②欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数」とは、職員総数から除外職員数及び除外率相当職員数(旧除外職員が職員総数に占める割合を元に設定した除外率を乗じて得た数)を除いた職員数である。
- 2 ③A欄の「重度身体障害者及び重度知的障害者」については法律上、1人を2人に相当するものとしており、E欄の計を算出するに当たりダブルカウントを行い、D欄の「重度以外身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間障害者」については法律上、1人を0.5人に相当する者としており、E欄の計を算出するに当たり0.5カウントとしている。
- 3 A、C欄は1週間の所定労働時間が30時間以上の職員である。B、D欄は1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の職員である。
- 4 F欄の「うち新規雇用分」は平成24年6月2日から平成25年6月1日までの1年間に新規に雇い入れられた障害者数である。
- 5 ()内は平成24年6月1日現在の数値である。
なお、精神障害者は平成18年4月1日から実雇用率に算定されることとなった。

[2(1)②表の注]

- 注1 ①欄の「障害者の数」とは②③④のe欄の計である。
- 2 ②③a欄の重度障害者については法律上、1人を2人に相当するものとしており、e欄の計を算出するに当たりダブルカウントとしている。
- 3 ②③④d欄の重度以外身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間職員については法律上、1人を0.5人に相当するものとしており、e欄を算出するに当たり0.5カウントとしている。
- 4 ②③のa欄及び④のc欄は1週間の所定労働時間が30時間以上の職員であり、②③のb、d欄及び④のd欄は1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の職員である。
- 5 ②③④f欄の「うち新規雇用分」は平成24年6月2日から平成25年6月1日までの1年間に新規に雇い入れられた障害者数である。
- 6 ()内は平成24年6月1日現在の数値である。
なお、精神障害者は平成18年4月1日から実雇用率に算定されることとなった。

(2) 都道府県の機関（法定雇用率2.3%）

① 概況

区分	① 機関数	② 法定雇用障害者 数の算定の基礎 となる職員数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用 率達成機 関の数	⑥ 法定雇用率 達成機関の 割合
			A.重度身体 障害者及び 重度知的障 害者	B.重度身体障 害者及び重度 知的障害者で ある短時間勤 務職員	C. 重度以外 の身体障害 者、知的障害 者及び精神障 害者	D.重度以外身 体障害者及び 知的障害者並 びに精神障害 者である短時 間勤務職員	E. 計 A×2+B+C +D×0.5	F. うち新規雇 用分			
計	機関 156	人 322,458.5	人 2,076	人 185	人 3,555	人 488	人 8,136.0	人 385.0	% 2.52	機関 144	% 92.3
	(155)	(323,879.0)	(2,008)	(154)	(3,519)	(386)	(7,882.0)	(287.0)	(2.43)	(144)	(92.9)
都道府県 知事部局	機関 47	人 255,526.0	人 1,704	人 109	人 2,845	人 279	人 6,501.5	人 258.5	% 2.54	機関 46	% 97.9
	(47)	(257,128.0)	(1,649)	(88)	(2,825)	(240)	(6,331.0)	(200.5)	(2.46)	(47)	(100.0)
その他の 都道府県機関	109	66,932.5	372	76	710	209	1,634.5	126.5	2.44	98	89.9
	(108)	66,751.0)	(359)	(66)	(694)	(146)	(1,551.0)	(86.5)	(2.32)	(97)	(89.8)

注 2(1)①の表と同じ

② 障害種別在職状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体障 害者	b. 重度身体 障害者である 短時間勤務職 員	c. 重度以外の 身体障害者	d. 重度以外 の身体障害者 である短時間勤 務職員	e. 計 a×2+b+c+d ×0.5	f. うち新規雇 用分	a.重度知的障 害者	b. 重度知的 障害者である 短時間勤務職 員	c. 重度以外の 知的障害者	d. 重度以外 の知的障害者で ある短時間勤 務職員	e. 計 a×2+b+c+ d×0.5	f. うち新規雇 用分	c.精神障害者	d. 精神障害者 である短時間 勤務職員	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇 用分
計	人 8,136.0	人 2,070	人 184	人 3,403	人 353	人 7,903.5	人 344.5	人 6	人 1	人 37	人 76	人 88.0	人 13.5	人 115	人 59	人 144.5	人 27.0
	(7,882.0)	(2,005)	(154)	(3,403)	(292)	(7,713.0)	(253.0)	(3)	(0)	(25)	(70)	(66.0)	(24.0)	(91	(24)	(103.0)	(10.0)
都道府県 知事部局	人 6,501.5	人 1,698	人 108	人 2,739	人 196	人 6,341.0	人 239.5	人 6	人 1	人 33	人 58	人 75.0	人 9.5	人 73	人 25	人 85.5	人 9.5
	(6,331.0)	(1,646	88	2,752	171)	(6,217.5)	(179.0)	(3	0	22	57)	(56.5)	(18.5)	(51	12)	(57.0)	(3.0)
その他の 都道府県機関	1,634.5	372	76	664	157	1,562.5	105.0	0	0	4	18	13.0	4.0	42	34	59.0	17.5
	(1,551.0)	(359	66	651	121)	(1,495.5)	(74.0)	(0	0	3	13)	(9.5)	(5.5)	(40	12)	(46.0)	(7.0)

注 2(1)②の表と同じ

(3) 市町村の機関（法定雇用率2.3%）

① 概況

区分	① 機関数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②×100	⑤ 法定雇用率達成機関の数	⑥ 法定雇用率達成機関の割合
			A. 重度身体障害者及び重度知的障害者	B. 重度身体障害者及び重度知的障害者である短時間勤務職員	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者	D. 重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間勤務職員	E. 計 A×2+B+C+D×0.5	F. うち新規雇用分			
市町村の機関	機関	人	人	人	人	人	人	人	%	機関	%
	2,372	1,061,543.5	6,333	395	11,321	820	24,792.0	1,835.5	2.34	1,947	82.1
	(2,312)	(1,052,790.5)	(6,037)	(362)	(10,938)	(713)	(23,730.5)	(1,344.5)	(2.25)	(1,998)	(86.4)

注 2(1)①の表と同じ

② 障害種別在職状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a. 重度身体障害者	b. 重度身体障害者である短時間勤務職員	c. 重度以外の身体障害者	d. 重度以外の身体障害者である短時間勤務職員	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	a. 重度知的障害者	b. 重度知的障害者である短時間勤務職員	c. 重度以外の知的障害者	d. 重度以外の知的障害者である短時間勤務職員	e. 計 a×2+b+c+d×0.5	f. うち新規雇用分	c. 精神障害者	d. 精神障害者である短時間勤務職員	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇用分
市町村の機関	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	24,792.0	6,269	375	10,140	614	23,360.0	1,550.0	64	20	424	101	622.5	167.5	757	105	809.5	118.0
	(23,730.5)	(6,006)	(345)	(9,956)	(540)	(22,583.0)	(1,171.0)	(31)	(17)	(369)	(95)	(495.5)	(95.5)	(613)	(78)	(652.0)	(78.0)

注 2(1)②の表と同じ

(4) 都道府県等の教育委員会（法定雇用率2.2%）

① 概況

区分	① 機関数	② 法定雇用障害者 数の算定の基礎と なる職員数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②× 100	⑤ 法定雇用率 達成機関の 数	⑥ 法定雇用 率達成機 関の割合
			A.重度身体 障害者及び 重度知的障 害者	B.重度身体障 害者及び重度 知的障害者で ある短時間勤 務職員	C. 重度以外 の身体障害 者、知的障害 者及び精神障 害者	D.重度以外身 体障害者及び 知的障害者並 びに精神障害 者である短時 間勤務職員	E. 計 A×2+B+C+ D×0.5	F. うち新規雇 用分			
計	機関 125 (121)	人 676,557.0 (673,631.0)	人 3,358 (3,219)	人 150 (123)	人 6,495 (5,973)	人 440 (287)	人 13,581.0 (12,677.5)	人 1,256.0 (963.5)	% 2.01 (1.88)	機関 72 (85)	% 57.6 (70.2)
都道府県 教育委員会	機関 47 (47)	人 576,612.5 (578,163.5)	人 2,863 (2,767)	人 130 (100)	人 5,592 (5,142)	人 373 (239)	人 11,634.5 (10,895.5)	人 1,064.5 (842.5)	% 2.02 (1.88)	機関 12 (24)	% 25.5 (51.1)
市町村 教育委員会	78 (74)	99,944.5 (95,467.5)	495 (452)	20 (23)	903 (831)	67 (48)	1,946.5 (1,782.0)	191.5 (121.0)	1.95 (1.87)	60 (61)	76.9 (82.4)

注 2(1)①の表と同じ

② 障害種別在職状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体障 害者	b. 重度身体 障害者である 短時間勤務職 員	c. 重度以外の 身体障害者	d. 重度以外の 身体障害者で ある短時間勤 務職員	e. 計 a×2+b+c+d ×0.5	f. うち新規雇 用分	a.重度知的障 害者	b. 重度知的 障害者である 短時間勤務職 員	c. 重度以外の 知的障害者	d. 重度以外の 知的障害者で ある短時間勤 務職員	e. 計 a×2+b+c+ d×0.5	f. うち新規雇 用分	c.精神障害者	d. 精神障害者 である短時間 勤務職員	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規雇 用分
計	人 13,581.0 (12,677.5)	人 3,319 (3,186)	人 141 (119)	人 5,968 (5,592)	人 253 (202)	人 12,873.5 (12,184.0)	人 952.0 (771.0)	人 39 (33)	人 9 (4)	人 200 (153)	人 116 (62)	人 345.0 (254.0)	人 186.0 (134.5)	人 327 (228)	人 71 (23)	人 362.5 (239.5)	人 118.0 (58.0)
都道府県 教育委員会	人 11,634.5 (10,895.5)	人 2,825 (2,739)	人 121 (96)	人 5,157 (4,823)	人 200 (155)	人 11,028.0 (10,474.5)	人 790.0 (668.0)	人 38 (28)	人 9 (4)	人 158 (128)	人 105 (61)	人 295.5 (218.5)	人 164.5 (119.5)	人 277 (191)	人 68 (23)	人 311.0 (202.5)	人 110.0 (55.0)
市町村 教育委員会	人 1,946.5 (1,782.0)	人 494 (447)	人 20 (23)	人 811 (769)	人 53 (47)	人 1,845.5 (1,709.5)	人 162.0 (103.0)	人 1 (5)	人 0 (0)	人 42 (25)	人 11 (1)	人 49.5 (35.5)	人 21.5 (15.0)	人 50 (37)	人 3 (0)	人 51.5 (37.0)	人 8.0 (3.0)

注 2(1)②の表と同じ

3 独立行政法人等における雇用状況(法定雇用率2.3%)

① 概況

区分	① 法人数	② 法定雇用障害 者数の算定の基 礎となる労働者 数	③ 障害者の数						④ 実雇用率 E÷②× 100	⑤ 法定雇用率 達成法人の 数	⑥ 法定雇用 率達成法 人の割合
			A.重度身 体障害者及 び重度知的 障害者	B.重度身体 障害者及び 重度知的障 害者である 短時間労働 者	C. 重度以外 の身体障害 者、知的障 害者及び精 神障害者	D.重度以外 身体障害者 及び知的障 害者並びに 精神障害者 である短時 間労働者	E. 計 A×2+B+C +D×0.5	F. うち新規雇用 分			
計	法人	人	人	人	人	人	人	人	%	法人	%
	318	369,292.0	2,137	112	3,885	196	8,369.0	1,348.0	2.27	213	67.0
	(305)	(359,343.5)	(1,972)	(84)	(3,543)	(152)	(7,647.0)	(1,086.5)	(2.13)	(227)	(74.4)
独立行政法 人等(国立大 学法人等を 除く)	100	180,015.5	1,058	74	2,010	134	4,267.0	637.5	2.37	76	76.0
	(97)	(176,481.0)	(983)	(51)	(1,849)	(102)	(3,917.0)	(439.0)	(2.22)	(82)	(84.5)
国立大学 法人等	90	137,104.5	842	23	1,415	41	3,142.5	498.5	2.29	64	71.1
	(90)	(134,784.5)	(792)	(22)	(1,286)	(40)	(2,912.0)	(486.0)	(2.16)	(70)	(77.8)
地方独立 行政法人 等	128	52,172.0	237	15	460	21	959.5	212.0	1.84	73	57.0
	(118)	(48,078.0)	(197)	(11)	(408)	(10)	(818.0)	(161.5)	(1.70)	(75)	(63.6)

注 1(1)①の表と同じ

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数	②身体障害者の数						③知的障害者の数						④精神障害者の数			
		a.重度身体 障害者	b. 重度身 体障害者で ある短時間 労働者	c. 重度以 外の身体障 害者	d. 重度以 外の身体障 害者である 短時間労働 者	e. 計 a×2+b+ c+d×0.5	f. うち新規 雇用分	a.重度知的 障害者	b. 重度知 的障害者で ある短時間 労働者	c. 重度以 外の知的障 害者	d. 重度以 外の知的障 害者である 短時間労働 者	e. 計 a×2+b+ c+d×0.5	f. うち新規 雇用分	c.精神障害 者	d. 精神障 害者である 短時間労働 者	e. 計 c+d×0.5	f. うち新規 雇用分
計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	8,369.0	1,883	105	2,803	127	6,737.5	949.5	254	7	401	9	920.5	200.5	681	60	711.0	198.0
	(7,647.0)	(1,765)	(79)	(2,686)	(97)	(6,343.5)	(765.5)	(207)	(5)	(354)	(6)	(776.0)	(180.5)	(503)	(49)	(527.5)	(140.5)
独立行政法 人等(国立大 学法人等を 除く)	4,267.0	1,023	68	1,548	82	3,703.0	510.0	35	6	123	4	201.0	34.0	339	48	363.0	93.5
	(3,917.0)	(953)	(50)	(1,476)	(62)	(3,463.0)	(345.0)	(30)	(1)	(119)	(0)	(180.0)	(32.0)	(254)	(40)	(274.0)	(62.0)
国立大学法 人等	3,142.5	646	22	919	28	2,247.0	279.0	196	1	234	4	629.0	145.0	262	9	266.5	74.5
	(2,912.0)	(631)	(18)	(897)	(25)	(2,189.5)	(311.0)	(161)	(4)	(194)	(6)	(523.0)	(123.5)	(195)	(9)	(199.5)	(51.5)
地方独立行 政法人等	959.5	214	15	336	17	787.5	160.5	23	0	44	1	90.5	21.5	80	3	81.5	30.0
	(818.0)	(181)	(11)	(313)	(10)	(691.0)	(109.5)	(16)	(0)	(41)	(0)	(73.0)	(25.0)	(54)	(0)	(54.0)	(27.0)

※ 「独立行政法人等」とは、障害者の雇用の促進等に関する法律施行令別表第2の第1号から第8号まで、「地方独立行政法人等」とは、同令別表第2の第9号から第10号までの法人を指す。

4 公的機関の各機関の状況

(1) 国の機関の状況（法定雇用率2.3%）

	① 法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
国の機関合計	301,817.0	7,371.0	2.44	11.0	
行政機関合計	273,402.5	6,667.0	2.44	11.0	
内閣官房	741.0	18.0	2.43	0.0	
内閣法制局	76.0	1.0	1.32	0.0	
内閣府	2,284.0	56.0	2.45	0.0	
宮内庁	860.0	22.0	2.56	0.0	
公正取引委員会	789.0	18.0	2.28	0.0	
警察庁	2,093.0	48.0	2.29	0.0	
金融庁	1,566.5	38.0	2.43	0.0	
消費者庁	321.0	8.0	2.49	0.0	
復興庁	－	－	－	－	(注4)
総務省	5,192.0	142.0	2.73	0.0	特例承認あり(注5)
法務省	31,469.5	748.5	2.38	0.0	
公安調査庁	1,487.5	36.0	2.42	0.0	
外務省	5,753.0	150.0	2.61	0.0	
財務省	10,709.0	248.0	2.32	0.0	
国税庁	57,430.0	1,360.5	2.37	0.0	
文部科学省	2,130.0	51.0	2.39	0.0	特例承認あり(注5)
厚生労働省	52,586.0	1,423.0	2.71	0.0	
農林水産省	16,860.0	401.0	2.38	0.0	
林野庁	4,137.0	96.0	2.32	0.0	
水産庁	601.0	15.0	2.50	0.0	
経済産業省	5,139.5	127.5	2.48	0.0	特例承認あり(注5)
特許庁	2,684.5	62.5	2.33	0.0	
国土交通省	37,878.0	879.5	2.32	0.0	
観光庁	99.0	3.0	3.03	0.0	
気象庁	4,860.5	114.5	2.36	0.0	
海上保安庁	101.0	3.0	2.97	0.0	
運輸安全委員会	182.5	6.0	3.29	0.0	
環境省	1,602.0	37.0	2.31	0.0	
原子力規制委員会	594.0	2.0	0.34	11.0	
防衛省	21,251.0	507.0	2.39	0.0	
人事院	628.0	15.0	2.39	0.0	
会計検査院	1,297.0	30.0	2.31	0.0	
立法機関合計	3,536.0	82.5	2.33	0.0	
衆議院事務局	1,418.0	32.0	2.26	0.0	
衆議院法制局	80.5	2.0	2.48	0.0	
参議院事務局	1,079.5	25.5	2.36	0.0	
参議院法制局	68.0	2.0	2.94	0.0	
国立国会図書館	890.0	21.0	2.36	0.0	
司法機関合計	24,878.5	621.5	2.50	0.0	
最高裁判所	1,011.0	24.0	2.37	0.0	
高等裁判所	1,725.0	39.0	2.26	0.0	
地方裁判所	16,651.0	414.5	2.49	0.0	
家庭裁判所	5,491.5	144.0	2.62	0.0	

- 注 1 ①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数」とは、職員総数から除外職員数及び除外率相当職員数(旧除外職員が職員総数に占める割合を元に設定した除外率を乗じて得た数)を除いた職員数である。
- 2 ②欄の「障害者の数」とは、身体障害者数、知的障害者数及び精神障害者数の計であり、短時間勤務職員以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については、法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントを行い、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間勤務職員については、法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。
- 3 ④欄の「不足数」とは、①欄の職員数に法定雇用率を乗じて得た数(1未満の端数切り捨て)から②欄の障害者の数を減じて得た数であり、これが0.0となることをもって法定雇用率達成となる。
したがって、実雇用率が法定雇用率を下回っていても、不足数が0.0となることがあり、この場合、法定雇用率達成となる。
- 4 注4の機関においては、労働者数が43.5人未満であり、障害者の雇用の促進等に関する法律第43条に基づく障害者の雇用義務が発生していない。
- 5 注5の省庁は、特例承認を受けている。
特例承認とは、省庁及び当該省庁における外局の申請に基づき、厚生労働大臣の承認を受けた場合に、当該省庁における外局に勤務する職員を当該省庁に勤務する職員とみなすものである。

特例承認一覧

省庁	外局等		
総務省	消防庁		
文部科学省	文化庁		
経済産業省	中小企業庁	資源エネルギー庁	

(2) 都道府県知事部局の状況（法定雇用率2.3%）

	① 法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
合 計	255,526.0	6,501.5	2.54	6.5	
北海道	13,491.0	324.0	2.40	0.0	
青森県	3,798.0	92.0	2.42	0.0	
岩手県	4,134.5	98.0	2.37	0.0	
宮城県	5,433.0	117.5	2.16	6.5	注5
秋田県	3,629.0	96.5	2.66	0.0	
山形県	5,543.0	128.0	2.31	0.0	特例認定あり(注4)
福島県	5,477.0	130.0	2.37	0.0	
茨城県	5,311.5	123.0	2.32	0.0	
栃木県	5,075.5	119.0	2.34	0.0	特例認定あり(注4)
群馬県	4,575.0	111.0	2.43	0.0	
埼玉県	7,034.5	207.0	2.94	0.0	
千葉県	7,729.0	192.0	2.48	0.0	特例認定あり(注4)
東京都	23,374.5	619.0	2.65	0.0	
神奈川県	7,461.0	255.5	3.42	0.0	
新潟県	6,404.5	153.0	2.39	0.0	特例認定あり(注4)
富山県	3,814.0	90.0	2.36	0.0	特例認定あり(注4)
石川県	4,425.0	102.0	2.31	0.0	
福井県	3,629.5	84.0	2.31	0.0	
山梨県	3,431.0	81.0	2.36	0.0	
長野県	5,130.0	123.5	2.41	0.0	特例認定あり(注4)
岐阜県	4,558.0	110.0	2.41	0.0	
静岡県	5,968.5	138.5	2.32	0.0	特例認定あり(注4)
愛知県	9,127.5	226.0	2.48	0.0	
三重県	5,191.0	128.5	2.48	0.0	
滋賀県	3,566.0	82.5	2.31	0.0	特例認定あり(注4)
京都府	3,971.0	105.5	2.66	0.0	
大阪府	8,181.0	291.0	3.56	0.0	
兵庫県	6,702.5	176.0	2.63	0.0	特例認定あり(注4)
奈良県	4,350.5	100.0	2.30	0.0	特例認定あり(注4)
和歌山県	3,742.0	97.5	2.61	0.0	
鳥取県	3,219.0	77.0	2.39	0.0	特例認定あり(注4)
島根県	3,822.0	95.5	2.50	0.0	特例認定あり(注4)
岡山県	3,877.0	91.0	2.35	0.0	特例認定あり(注4)
広島県	5,821.0	134.0	2.30	0.0	特例認定あり(注4)
山口県	3,929.5	105.0	2.67	0.0	特例認定あり(注4)
徳島県	2,950.0	68.0	2.31	0.0	
香川県	3,782.0	90.0	2.38	0.0	特例認定あり(注4)
愛媛県	4,037.5	94.0	2.33	0.0	
高知県	3,555.0	86.5	2.43	0.0	
福岡県	7,768.0	255.5	3.29	0.0	特例認定あり(注4)
佐賀県	3,118.5	79.5	2.55	0.0	
長崎県	4,084.5	98.0	2.40	0.0	
熊本県	4,704.5	116.0	2.47	0.0	
大分県	3,809.5	91.0	2.39	0.0	
宮崎県	4,017.5	95.5	2.38	0.0	
鹿児島県	4,735.0	111.0	2.34	0.0	
沖縄県	4,037.0	112.5	2.79	0.0	

- 注 1 ①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数」とは、職員総数から除外職員数及び除外率相当職員数(旧除外職員が職員総数に占める割合を元に設定した除外率を乗じて得た数)を除いた職員数である。
- 2 ②欄の「障害者の数」とは、身体障害者数、知的障害者数及び精神障害者数の計であり、短時間勤務職員以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については、法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントを行い(短時間勤務職員である重度身体障害者及び重度知的障害者については1人を1カウントとする)、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間勤務職員については、法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。
- 3 ④欄の「不足数」とは、①欄の職員数に法定雇用率を乗じて得た数(1未満の端数切り捨て)から②欄の障害者の数を減じて得た数であり、これが0.0となることをもって法定雇用率達成となる。
したがって、実雇用率が法定雇用率を下回っていても、不足数が0.0となることがあり、この場合、法定雇用率達成となる。
- 4 注4の機関は、特例認定を受けている。
特例認定とは、地方公共団体の機関(A)及び当該A機関と人的関係が緊密である等の機関(B)の申請に基づき、厚生労働大臣の認定を受けた場合に、当該B機関に勤務する職員を当該A機関に勤務する職員とみなすものである。
- 5 宮城県においては、11月1日現在において、障害者の数127.5人、実雇用率2.30%、不足数0.0人となっている。

特例認定一覧(都道府県知事部局)					
認定地方機関(A)	みなされることとなる機関(B)				
奈良県	奈良県水道局	奈良県監査委員事務局	奈良県人事委員会事務局	奈良県労働委員会事務局	奈良県収用委員会事務局
山形県	山形県企業局	山形県病院事業局			
新潟県	新潟県議会事務局				
静岡県	静岡県企業局	静岡県議会事務局			
山口県	山口県企業局				
広島県	広島県企業局	広島県議会事務局			
島根県	島根県企業局				
鳥取県	鳥取県企業局				
福岡県	福岡県議会事務局				
滋賀県	滋賀県企業庁	滋賀県病院事業庁			
香川県	香川県病院局				
栃木県	栃木県企業局				
富山県	富山県企業局				
千葉県	千葉県議会事務局				
長野県	長野県企業局				
兵庫県	兵庫県議会事務局				
岡山県	岡山県企業局				

(3) その他の都道府県機関の状況（法定雇用率2.3%）

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
合 計	66,932.5	1,634.5	2.44	21.5	
北海道企業局	90.0	2.0	2.22	0.0	
北海道議会事務局	71.5	2.0	2.80	0.0	
北海道監査委員事務局	52.5	1.0	1.90	0.0	
北海道警察本部	1,398.5	33.0	2.36	0.0	
青森県病院局	649.0	12.5	1.93	1.5	
青森県警察本部	369.0	8.0	2.17	0.0	
岩手県企業局	77.0	2.0	2.60	0.0	
岩手県医療局	3,323.0	80.0	2.41	0.0	
岩手県警察本部	390.5	8.0	2.05	0.0	
宮城県企業局	70.0	0.0	0.00	1.0	注4①
宮城県議会事務局	44.0	1.0	2.27	0.0	
宮城県警察本部	593.0	12.0	2.02	1.0	注4②
秋田県警察本部	390.5	9.5	2.43	0.0	
山形県警察本部	416.0	11.0	2.64	0.0	
福島県病院局	188.0	1.0	0.53	3.0	
福島県警察本部	580.5	13.0	2.24	0.0	
茨城県企業局	191.5	4.0	2.09	0.0	
茨城県病院局	521.0	11.0	2.11	0.0	
茨城県警察本部	629.0	13.0	2.07	1.0	注4③
栃木県警察本部	494.5	12.5	2.53	0.0	
群馬県企業局	302.5	8.5	2.81	0.0	
群馬県病院局	524.0	12.0	2.29	0.0	
群馬県警察本部	538.0	12.5	2.32	0.0	
埼玉県企業局	401.5	10.0	2.49	0.0	
埼玉県病院局	1,102.5	30.0	2.72	0.0	
埼玉県下水道局	103.0	4.0	3.88	0.0	
埼玉県議会事務局	65.0	2.0	3.08	0.0	
埼玉県警察本部	1,453.0	33.5	2.31	0.0	
千葉県企業庁	324.0	12.0	3.70	0.0	
千葉県病院局	1,208.0	29.0	2.40	0.0	
千葉県水道局	874.5	26.0	2.97	0.0	
北千葉広域水道企業団	93.0	2.0	2.15	0.0	
君津広域水道企業団	68.0	1.0	1.47	0.0	
千葉県警察本部	1,479.5	37.0	2.50	0.0	
東京都議会議会局	155.5	5.5	3.54	0.0	
東京都人事委員会	64.5	3.0	4.65	0.0	
東京都監査事務局	93.0	3.0	3.23	0.0	
東京都交通局	1,987.5	59.5	2.99	0.0	
東京都水道局	2,925.0	72.0	2.46	0.0	
東京都下水道局	1,433.0	51.5	3.59	0.0	
警視庁	4,627.0	107.0	2.31	0.0	
東京消防庁	966.5	25.5	2.64	0.0	
神奈川県企業庁	951.5	28.0	2.94	0.0	
神奈川県議会議会局	79.0	2.0	2.53	0.0	
神奈川県警察本部	2,119.5	49.0	2.31	0.0	
新潟県企業局	93.0	2.0	2.15	0.0	
新潟県病院局	2,465.5	54.5	2.21	1.5	注4④
新潟県警察本部	626.5	13.0	2.08	1.0	注4⑤
富山県警察本部	386.0	10.0	2.59	0.0	
石川県警察本部	333.0	7.0	2.10	0.0	
福井県警察本部	341.0	7.0	2.05	0.0	
山梨県企業局	61.0	3.0	4.92	0.0	
山梨県警察本部	357.0	9.0	2.52	0.0	
長野県警察本部	428.0	9.0	2.10	0.0	
岐阜県警察本部	415.0	13.0	3.13	0.0	
静岡県がんセンター局	641.0	14.0	2.18	0.0	
静岡県警察本部	787.0	19.0	2.41	0.0	

	① 法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
愛知県企業庁	396.5	12.0	3.03	0.0	
愛知県病院事業庁	665.5	16.0	2.40	0.0	
名古屋港管理組合	324.0	5.0	1.54	2.0	
愛知県議会事務局	66.5	1.0	1.50	0.0	
愛知県警察本部	1,159.0	28.5	2.46	0.0	
三重県企業庁	169.5	4.0	2.36	0.0	
三重県議会事務局	52.0	2.0	3.85	0.0	
三重県病院事業庁	180.5	7.0	3.88	0.0	
三重県警察本部	378.0	9.0	2.38	0.0	
滋賀県警察本部	315.0	7.5	2.38	0.0	
京都府文化環境部	67.0	2.0	2.99	0.0	
京都府警察本部	677.0	19.0	2.81	0.0	
大阪府議会事務局	64.0	2.0	3.13	0.0	
大阪府警察本部	2,360.0	55.0	2.33	0.0	
兵庫県企業庁	183.5	8.0	4.36	0.0	
兵庫県病院局	2,176.0	53.0	2.44	0.0	
兵庫県警察本部	979.0	22.0	2.25	0.0	
奈良県警察本部	336.0	10.0	2.98	0.0	
和歌山県警察本部	377.0	8.5	2.25	0.0	
鳥取県病院局	558.0	14.5	2.60	0.0	
鳥取県警察本部	302.0	6.0	1.99	0.0	
島根県病院局	477.0	10.0	2.10	0.0	
島根県警察本部	350.5	8.5	2.43	0.0	
岡山県警察本部	575.0	16.0	2.78	0.0	
広島県警察本部	637.5	15.0	2.35	0.0	
山口県警察本部	514.0	14.0	2.72	0.0	
徳島県企業局	118.5	2.0	1.69	0.0	
徳島県病院局	403.0	11.0	2.73	0.0	
徳島県警察本部	362.0	8.0	2.21	0.0	
香川県警察本部	432.0	10.0	2.31	0.0	
愛媛県公営企業管理局	914.0	22.0	2.41	0.0	
愛媛県警察本部	440.0	4.0	0.91	6.0	
高知県公営企業局	342.0	9.0	2.63	0.0	
高知県警察本部	335.5	10.0	2.98	0.0	
福岡県警察本部	1,031.0	20.5	1.99	2.5	
佐賀県警察本部	327.5	11.0	3.36	0.0	
長崎県交通局	173.0	3.0	1.73	0.0	
長崎県病院企業団	1,127.0	25.0	2.22	0.0	
長崎県警察本部	501.0	12.0	2.40	0.0	
熊本県警察本部	497.0	11.0	2.21	0.0	
大分県企業局	63.0	1.0	1.59	0.0	
大分県病院局	372.5	7.0	1.88	1.0	
大分県警察本部	365.0	8.0	2.19	0.0	
宮崎県企業局	82.5	1.0	1.21	0.0	
宮崎県病院局	559.0	12.0	2.15	0.0	
宮崎県警察本部	355.5	8.5	2.39	0.0	
鹿児島県県立病院局	396.0	11.0	2.78	0.0	
鹿児島県警察本部	501.0	12.0	2.40	0.0	
沖縄県企業局	252.5	8.5	3.37	0.0	
沖縄県議会事務局	45.5	1.0	2.20	0.0	
沖縄県病院事業局	886.0	21.0	2.37	0.0	
沖縄県警察本部	299.0	7.0	2.34	0.0	

注 1 ①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数」とは、職員総数から除外職員数及び除外率相当職員数(旧除外職員が職員総数に占める割合を元に設定した除外率を乗じて得た数)を除いた職員数である。

2 ②欄の「障害者の数」とは、身体障害者数、知的障害者数及び精神障害者数の計であり、短時間勤務職員以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については、法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントを行い(短時間勤務職員である重度身体障害者及び重度知的障害者については1人を1カウントとする)、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間勤務職員については、法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。

3 ④欄の「不足数」とは、①欄の職員数に法定雇用率を乗じて得た数(1未満の端数切り捨て)から②欄の障害者の数を減じて得た数であり、これが0.0となることをもって法定雇用率達成となる。
したがって、実雇用率が法定雇用率を下回っていても、不足数が0.0となることがあり、この場合、法定雇用率達成となる。

4 ① 宮城県企業局においては、11月1日現在において、障害者の数1.5人、実雇用率2.14%、不足数0.0人となっている。
② 宮城県警察本部においては、6月26日現在において、障害者の数14人、実雇用率2.36%、不足数0.0人となっている。
③ 茨城県警察本部においては、11月1日現在において、障害者の数14人、実雇用率2.22%、不足数0.0人となっている。
④ 新潟県病院局においては、11月1日現在において、障害者の数56人、実雇用率2.27%、不足数0.0人となっている。
⑤ 新潟県警察本部においては、8月22日現在において、障害者の数15.5人、実雇用率2.47%、不足数0.0人となっている。

(4) 都道府県教育委員会の状況（法定雇用率2.2%）

	① 法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
合 計	576,612.5	11,634.5	2.02	1,083.0	
北海道	31,520.0	566.0	1.80	127.0	
青森県	8,574.0	157.5	1.84	30.5	
岩手県	8,696.0	174.0	2.00	17.0	
宮城県	10,684.0	187.0	1.75	48.0	
秋田県	8,299.0	173.0	2.08	9.0	
山形県	7,577.0	174.0	2.30	0.0	
福島県	12,007.5	242.5	2.02	21.5	
茨城県	16,511.5	374.0	2.27	0.0	
栃木県	11,882.0	220.5	1.86	40.5	
群馬県	11,669.0	247.0	2.12	9.0	
埼玉県	25,652.0	450.5	1.76	113.5	
千葉県	22,762.0	507.5	2.23	0.0	
東京都	42,770.5	763.0	1.78	177.0	
神奈川県	22,327.5	492.0	2.20	0.0	
新潟県	12,495.5	259.0	2.07	15.0	
富山県	6,203.0	140.0	2.26	0.0	
石川県	6,437.0	142.0	2.21	0.0	
福井県	5,729.0	115.0	2.01	11.0	
山梨県	6,468.0	128.0	1.98	14.0	
長野県	12,057.0	231.0	1.92	34.0	
岐阜県	11,362.0	241.0	2.12	8.0	
静岡県	14,788.0	313.0	2.12	12.0	
愛知県	29,730.5	659.0	2.22	0.0	
三重県	10,897.0	225.5	2.07	13.5	
滋賀県	8,113.0	143.5	1.77	34.5	
京都府	8,831.0	183.0	2.07	11.0	
大阪府	27,927.5	543.5	1.95	70.5	
兵庫県	22,242.5	455.0	2.05	34.0	
奈良県	7,070.5	156.0	2.21	0.0	
和歌山県	6,252.5	131.0	2.10	6.0	
鳥取県	4,392.5	80.5	1.83	15.5	
島根県	5,817.0	106.0	1.82	21.0	
岡山県	10,151.0	210.5	2.07	12.5	
広島県	11,091.0	226.0	2.04	18.0	
山口県	8,382.0	159.0	1.90	25.0	
徳島県	5,242.5	116.0	2.21	0.0	
香川県	6,663.0	141.0	2.12	5.0	
愛媛県	8,808.5	191.0	2.17	2.0	
高知県	5,399.5	131.0	2.43	0.0	
福岡県	14,248.0	280.0	1.97	33.0	
佐賀県	6,487.0	134.0	2.07	8.0	注4
長崎県	8,748.0	183.0	2.09	9.0	
熊本県	8,138.5	163.5	2.01	15.5	
大分県	7,554.0	166.0	2.20	0.0	
宮崎県	6,799.5	125.0	1.84	24.0	
鹿児島県	11,779.0	221.0	1.88	38.0	
沖縄県	9,375.5	207.0	2.21	0.0	

注 1 ①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数」とは、職員総数から除外職員数及び除外率相当職員数（旧除外職員が職員総数に占める割合を元に設定した除外率を乗じて得た数）を除いた職員数である。

2 ②欄の「障害者の数」とは、身体障害者数、知的障害者数及び精神障害者数の計であり、短時間勤務職員以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については、法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントを行い（短時間勤務職員である重度身体障害者及び重度知的障害者については1人を1カウントとする）、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間勤務職員については、法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。

3 ④欄の「不足数」とは、①欄の職員数に法定雇用率を乗じて得た数（1未満の端数切り捨て）から②欄の障害者の数を減じて得た数であり、これが0.0となることをもって法定雇用率達成となる。

4 佐賀県教育委員会においては、10月1日現在において、障害者の数143人、実雇用率2.20%、不足数0.0人となっている。

(5) 独立行政法人等の状況（法定雇用率2.3%）

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる労働者数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
独立行政法人等合計	317,120.0	7,409.5	2.34	294.5	
自動車検査	978.0	22.5	2.30	0.0	
奄美群島振興開発基金	-	-	-	-	注4
医薬基盤研究所	240.0	6.0	2.50	0.0	
医薬品医療機器総合機構	1080.0	24.0	2.22	0.0	
宇宙航空研究開発機構	1857.0	43.0	2.32	0.0	
沖縄科学技術大学院大学学園	342.5	13.0	3.80	0.0	
海技教育機構	203.0	2.0	0.99	2.0	
海上技術安全研究所	243.5	4.0	1.64	1.0	
海上災害防止センター	54.0	0.0	0.00	1.0	
海洋研究開発機構	1054.5	25.0	2.37	0.0	
科学技術振興機構	577.0	16.0	2.77	0.0	
家畜改良センター	875.5	20.5	2.34	0.0	
環境再生保全機構	144.5	2.0	1.38	1.0	
教員研修センター	51.0	3.0	5.88	0.0	
勤労者退職金共済機構	348.5	9.0	2.58	0.0	
空港周辺整備機構	-	-	-	-	注4
経済産業研究所	59.5	4.0	6.72	0.0	
原子力安全基盤機構	467.5	12.0	2.57	0.0	
建築研究所	135.5	5.0	3.69	0.0	
航海訓練所	144.0	3.0	2.08	0.0	
工業所有権情報・研修館	125.0	2.0	1.60	0.0	
航空大学校	112.5	2.0	1.78	0.0	
交通安全環境研究所	157.0	3.0	1.91	0.0	
高齢・障害・求職者雇用支援機構	5,719.5	252.5	4.41	0.0	
港湾空港技術研究所	112.0	4.0	3.57	0.0	
国際観光振興機構	111.0	0.0	0.00	2.0	
国際協力機構	1,842.0	41.0	2.23	1.0	注5①
国際交流基金	367.0	9.0	2.45	0.0	
国際農林水産業研究センター	298.0	6.0	2.01	0.0	
国民生活センター	164.0	2.5	1.52	0.5	注5②
国立印刷局	4,302.5	100.0	2.32	0.0	
国立科学博物館	216.5	4.0	1.85	0.0	
国立環境研究所	698.0	17.0	2.44	0.0	
国立がん研究センター	1,826.5	37.0	2.03	5.0	
国立健康・栄養研究所	77.5	1.0	1.29	0.0	
国立高等専門学校機構	4,944.5	118.0	2.39	0.0	
国立公文書館	127.5	3.0	2.35	0.0	
国立国際医療研究センター	1,719.0	30.0	1.75	9.0	
国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	212.0	5.0	2.36	0.0	
国立循環器病研究センター	1,123.0	29.0	2.58	0.0	
国立女性教育会館	-	-	-	-	注4
国立成育医療研究センター	1,022.0	15.0	1.47	8.0	
国立青少年教育振興機構	729.0	12.0	1.65	4.0	
国立精神・神経医療研究センター	778.5	14.5	1.86	2.5	
国立大学財務・経営センター	-	-	-	-	注4
国立長寿医療研究センター	511.0	11.0	2.15	0.0	
国立特別支援教育総合研究所	81.5	1.0	1.23	0.0	
国立美術館	221.5	6.0	2.71	0.0	
国立病院機構	48,997.0	1,034.5	2.11	91.5	
国立文化財機構	640.5	15.5	2.42	0.0	
産業技術総合研究所	4,527.0	109.5	2.42	0.0	
自動車事故対策機構	347.0	8.0	2.31	0.0	
住宅金融支援機構	1,028.0	18.5	1.80	4.5	
種苗管理センター	310.5	9.0	2.90	0.0	
酒類総合研究所	58.5	0.0	0.00	1.0	
情報処理推進機構	156.5	4.0	2.56	0.0	
情報通信研究機構	833.0	23.0	2.76	0.0	
新エネルギー・産業技術総合開発機構	467.0	12.0	2.57	0.0	
森林総合研究所	1,165.0	31.5	2.70	0.0	

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる労働者数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
水産総合研究センター	826.0	22.5	2.72	0.0	
水産大学校	129.0	2.0	1.55	0.0	
製品評価技術基盤機構	466.5	12.0	2.57	0.0	
石油天然ガス・金属鉱物資源機構	517.0	12.0	2.32	0.0	
造幣局	969.0	28.0	2.89	0.0	
大学入試センター	109.5	2.0	1.83	0.0	
大学評価・学位授与機構	145.0	4.0	2.76	0.0	
中小企業基盤整備機構	898.5	23.5	2.62	0.0	
駐留軍等労働者労務管理機構	296.0	8.0	2.70	0.0	
鉄道建設・運輸施設整備支援機構	1,886.0	47.0	2.49	0.0	
電子航法研究所	84.0	1.0	1.19	0.0	
統計センター	803.0	14.0	1.74	4.0	
都市再生機構	3,495.5	82.0	2.35	0.0	
土木研究所	587.0	10.0	1.70	3.0	注5③
日本学術振興会	163.0	3.0	1.84	0.0	
日本学生支援機構	641.5	13.0	2.03	1.0	注5④
日本芸術文化振興会	297.0	5.0	1.68	1.0	
日本原子力研究開発機構	4,463.0	103.0	2.31	0.0	
日本高速道路保有・債務返済機構	-	-	-	-	注4
日本スポーツ振興センター	575.5	10.5	1.82	2.5	
日本万国博覧会記念機構	-	-	-	-	注4
日本貿易振興機構	1,115.0	23.0	2.06	2.0	注5⑤
日本貿易保険	125.5	2.0	1.59	0.0	
年金・健康保険福祉施設整理機構	-	-	-	-	注4
農業環境技術研究所	271.5	6.0	2.21	0.0	
農業者年金基金	86.0	1.0	1.16	0.0	
農業・食品産業技術総合研究機構	3,812.0	90.5	2.37	0.0	
農業生物資源研究所	665.0	17.0	2.56	0.0	
農畜産業振興機構	249.0	4.0	1.61	1.0	注5⑥
農林漁業信用基金	106.0	2.0	1.89	0.0	
農林水産消費安全技術センター	642.5	20.0	3.11	0.0	
福祉医療機構	274.5	6.0	2.19	0.0	
物質・材料研究機構	1,250.5	31.0	2.48	0.0	
防災科学技術研究所	249.0	5.5	2.21	0.0	
放射線医学総合研究所	670.0	15.0	2.24	0.0	
北方領土問題対策協会	-	-	-	-	注4
水資源機構	1,423.5	33.0	2.32	0.0	
郵便貯金・簡易生命保険管理機構	-	-	-	-	注4
理化学研究所	3,917.0	65.5	1.67	24.5	
労働安全衛生総合研究所	114.0	2.0	1.75	0.0	
労働者健康福祉機構	11,790.0	273.0	2.32	0.0	
労働政策研究・研修機構	126.5	4.0	3.16	0.0	
年金積立金管理運用	71.5	1.0	1.40	0.0	
北海道大学	4,855.5	109.0	2.24	2.0	注5⑦
北海道教育大学	607.0	16.0	2.64	0.0	
室蘭工業大学	257.0	6.0	2.33	0.0	
小樽商科大学	158.0	4.0	2.53	0.0	
帯広畜産大学	223.5	6.0	2.68	0.0	
旭川医科大学	1,258.5	23.5	1.87	4.5	
北見工業大学	209.5	5.0	2.39	0.0	
弘前大学	1,669.0	40.0	2.40	0.0	
岩手大学	698.0	20.0	2.87	0.0	
東北大学	5,714.5	111.5	1.95	19.5	
宮城教育大学	251.5	11.0	4.37	0.0	
秋田大学	1,641.5	37.0	2.25	0.0	
山形大学	1,903.0	39.0	2.05	4.0	
福島大学	417.5	10.0	2.40	0.0	
茨城大学	577.0	14.0	2.43	0.0	
筑波大学	3,615.0	85.0	2.35	0.0	
筑波技術大学	155.0	23.0	14.84	0.0	
宇都宮大学	553.5	14.0	2.53	0.0	

	① 法定雇用障害者数の 算定の基礎となる労働者数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
群馬大学	2, 145. 5	48. 5	2. 26	0. 5	注5⑧
埼玉大学	617. 0	12. 0	1. 94	2. 0	注5⑨
千葉大学	2, 937. 5	64. 0	2. 18	3. 0	
東京大学	9, 409. 5	207. 0	2. 20	9. 0	
東京医科歯科大学	2, 316. 5	46. 0	1. 99	7. 0	注5⑩
東京外国語大学	296. 5	8. 0	2. 70	0. 0	
東京学芸大学	746. 5	17. 0	2. 28	0. 0	
東京農工大学	624. 0	14. 0	2. 24	0. 0	
東京芸術大学	415. 0	9. 0	2. 17	0. 0	
東京工業大学	1, 853. 0	35. 0	1. 89	7. 0	
東京海洋大学	383. 5	12. 0	3. 13	0. 0	
お茶の水女子大学	376. 5	8. 0	2. 12	0. 0	
電気通信大学	469. 0	12. 0	2. 56	0. 0	
一橋大学	591. 0	13. 0	2. 20	0. 0	
横浜国立大学	824. 0	20. 0	2. 43	0. 0	
新潟大学	2, 723. 0	58. 0	2. 13	4. 0	注5⑪
長岡技術科学大学	341. 0	10. 0	2. 93	0. 0	
上越教育大学	240. 5	4. 0	1. 66	1. 0	注5⑫
富山大学	2, 002. 0	47. 0	2. 35	0. 0	
金沢大学	2, 521. 5	60. 0	2. 38	0. 0	
福井大学	1, 445. 5	31. 0	2. 14	2. 0	
山梨大学	1, 480. 5	34. 0	2. 30	0. 0	
信州大学	2, 225. 5	56. 0	2. 52	0. 0	
岐阜大学	1, 855. 5	44. 5	2. 40	0. 0	
静岡大学	999. 0	23. 0	2. 30	0. 0	
浜松医科大学	1, 226. 0	17. 0	1. 39	11. 0	
名古屋大学	4, 349. 0	102. 0	2. 35	0. 0	
愛知教育大学	489. 5	11. 0	2. 25	0. 0	
名古屋工業大学	504. 0	12. 0	2. 38	0. 0	
豊橋技術科学大学	341. 5	11. 5	3. 37	0. 0	
三重大学	2, 004. 0	41. 0	2. 05	5. 0	
滋賀大学	341. 5	7. 0	2. 05	0. 0	
滋賀医科大学	1, 289. 5	21. 5	1. 67	7. 5	
京都大学	6, 567. 5	138. 5	2. 11	12. 5	
京都教育大学	325. 5	8. 0	2. 46	0. 0	
京都工芸繊維大学	387. 5	7. 5	1. 94	0. 5	
大阪大学	5, 874. 5	145. 0	2. 47	0. 0	
大阪教育大学	563. 5	17. 0	3. 02	0. 0	
兵庫教育大学	256. 5	8. 0	3. 12	0. 0	
神戸大学	2, 998. 5	70. 5	2. 35	0. 0	
奈良教育大学	187. 5	0. 0	0. 00	4. 0	
奈良女子大学	326. 5	6. 5	1. 99	0. 5	注5⑬
和歌山大学	420. 5	6. 5	1. 55	2. 5	
鳥取大学	1, 965. 5	45. 0	2. 29	0. 0	
島根大学	1, 748. 5	42. 0	2. 40	0. 0	
岡山大学	3, 197. 0	79. 0	2. 47	0. 0	
広島大学	2, 985. 5	70. 0	2. 34	0. 0	
山口大学	2, 242. 0	48. 0	2. 14	3. 0	注5⑭
徳島大学	1, 588. 5	37. 0	2. 33	0. 0	
鳴門教育大学	271. 0	6. 0	2. 21	0. 0	
香川大学	1, 818. 0	47. 0	2. 59	0. 0	
愛媛大学	2, 056. 5	45. 0	2. 19	2. 0	注5⑮
高知大学	1, 627. 0	40. 0	2. 46	0. 0	
福岡教育大学	356. 0	9. 0	2. 53	0. 0	
九州大学	5, 088. 5	117. 5	2. 31	0. 0	
九州工業大学	549. 5	13. 0	2. 37	0. 0	
佐賀大学	1, 825. 5	46. 0	2. 52	0. 0	
長崎大学	2, 646. 5	61. 0	2. 30	0. 0	
熊本大学	2, 094. 5	45. 0	2. 15	3. 0	
大分大学	1, 631. 5	38. 0	2. 33	0. 0	
宮崎大学	1, 786. 0	48. 0	2. 69	0. 0	
鹿児島大学	2, 337. 5	68. 0	2. 91	0. 0	

	① 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数	② 障害者の数	③ 実雇用率	④ 不足数	備考
鹿屋体育大学	119.5	3.0	2.51	0.0	
琉球大学	1,992.5	48.0	2.41	0.0	
総合研究大学院大学	81.0	1.0	1.23	0.0	
政策研究大学院大学	117.5	2.0	1.70	0.0	
北陸先端科学技術大学院大学	237.0	4.0	1.69	1.0	注5⑩
奈良先端技術大学院大学	399.5	9.0	2.25	0.0	
人間文化研究機構	557.5	13.0	2.33	0.0	
自然科学研究機構	1,039.5	21.5	2.07	1.5	
高エネルギー加速器研究機構	954.5	22.0	2.30	0.0	
情報・システム研究機構	734.5	17.0	2.31	0.0	
日本司法支援センター	1,205.0	28.0	2.32	0.0	
日本私立学校振興・共済事業団	1,460.5	31.0	2.12	2.0	
沖縄振興開発金融公庫	246.0	7.0	2.85	0.0	
国際協力銀行	604.5	14.0	2.32	0.0	
日本政策金融公庫	7,664.0	197.5	2.58	0.0	
日本年金機構	24,466.0	655.5	2.68	0.0	
全国健康保険協会	5,074.5	125.0	2.46	0.0	

- 注
- 1
- ①欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数」とは、常用労働者総数から除外率相当数(身体障害者及び知的障害者が就業することが困難であると認められる職種が相当の割合を占める業種について定められた率を乗じて得た数)を除いた労働者数である。
- 2
- ②欄の「障害者の数」とは、身体障害者数、知的障害者数及び精神障害者数の計であり、短時間勤務職員以外の重度身体障害者及び重度知的障害者については、法律上、1人を2人に相当するものとしてダブルカウントとし、重度以外の身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者である短時間障害者については、法律上、1人を0.5人に相当するものとして0.5カウントとしている。
- 3
- ④欄の「不足数」とは、①欄の労働者数に法定雇用率を乗じて得た数(1未満の端数切り捨て)から②欄の障害者の数を減じて得た数であり、これが0.0となることをもって法定雇用率達成となる。
- したがって、実雇用率が法定雇用率を下回っていても、不足数0.0となることがあり、この場合、法定雇用率達成となる。
- 4
- これらの法人においては、労働者数が43.5人未満であり、障害者の雇用の促進等に関する法律第43条に基づく障害者の雇用義務が発生していない。
- 5
- ① 国際協力機構においては、7月1日現在において、障害者の数14人、実雇用率2.18％、不足数0.0人となっている。
- ② 国民生活センターにおいては、10月16日現在において、障害者の数3.5人、実雇用率2.11％、不足数0.0人となっている。
- ③ 土木研究所においては、11月1日現在において、障害者の数13人、実雇用率2.20％、不足数0.0人となっている。
- ④ 日本学生支援機構においては、7月1日現在において、障害者の数14人、実雇用率2.18％、不足数0.0人となっている。
- ⑤ 日本貿易振興機構においては、11月1日現在において、障害者の数25人、実雇用率2.23％、不足数0.0人となっている。
- ⑥ 農畜産業振興機構においては、10月1日現在において、障害者の数6人、実雇用率2.40％、不足数0.0人となっている。
- ⑦ 北海道大学においては、11月1日現在において、障害者の数111人、実雇用率2.28％、不足数0.0人となっている。
- ⑧ 群馬大学においては、9月1日現在において、障害者の数49.5人、実雇用率2.31％、不足数0.0人となっている。
- ⑨ 埼玉大学においては、7月1日現在において、障害者の数14人、実雇用率2.27％、不足数0.0人となっている。
- ⑩ 東京医科歯科大学においては、11月1日現在において、障害者の数54人、実雇用率2.34％、不足数0.0人となっている。
- ⑪ 新潟大学においては、12月1日現在において、障害者の数63人、実雇用率2.31％、不足数0.0人となっている。
- ⑫ 上越教育大学においては、10月1日現在において、障害者の数5人、実雇用率2.08％、不足数0.0人となっている。
- ⑬ 奈良女子大学においては、11月1日現在において、障害者の数8.5人、実雇用率2.60％、不足数0.0人となっている。
- ⑭ 山口大学においては、10月16日現在において、障害者の数51人、実雇用率2.26％、不足数0.0人となっている。
- ⑮ 愛媛大学においては、9月4日現在において、障害者の数47人、実雇用率2.29％、不足数0.0人となっている。
- ⑯ 北陸先端科学技術大学院大学においては、9月9日現在において、障害者の数5人、実雇用率2.12％、不足数0.0人となっている。
- 6
- 法人の掲載順は、障害者の雇用の促進等に関する法律施行令別表第2による。

障害者雇用率の見直し

障害者雇用率は、少なくとも5年ごとに、労働者と失業者の総数に対する身体又は知的障害者である労働者と失業者の総数の割合の推移を勘案して、政令で定めることとなっている。

平成24年は、前回(19年)の見直しから5年が経過していることから、必要な調査を行った結果、政令を改正し、**平成25年4月1日から障害者雇用率を引き上げる**ことになった。

* 平成24年6月 政令改正・公布

○ 引き上げ後の雇用率(平成25年4月1日施行)

事業主区分	雇用率	
	平成10年7月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日以降
民間企業（※）	1.8% ⇒	<u>2.0%</u>
国、地方公共団体等	2.1% ⇒	<u>2.3%</u>
都道府県等の教育委員会	2.0% ⇒	<u>2.2%</u>

※ 今回の雇用率の見直しに伴い、障害者を1人以上雇用しなければならない民間企業の範囲が、従業員56人以上から**50人以上**となった。